

LIXIL テラスSC 壁付タイプ テラストタイプ 基本・連棟 取付説明書

- ・このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- ・施工は必ず専門の工事業者の方が行ってください。
- ・この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。

この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

⚠ 注意

- ・取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

🙏 お願い

- ・取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- ・守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。

※

- ・取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。
- ・取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。

補 足

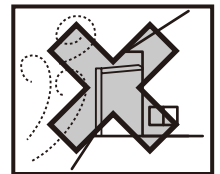
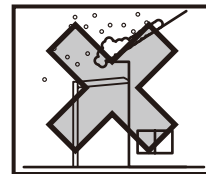
- ・説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

※製品破損、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

< 施工の前に >

⚠ 注意

- ・製品の施工には、危険を伴うおそれがありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
- ・日よけ・雨よけ以外の目的に本製品を使用しないでください。物置・遊び場あるいは住居の一部等への転用を目的に、みだりに改造・変更をしないでください。
- ・他社商品（バルコニーなど）と組合わせて設置しないでください。
- ・設置場所の確認をしてください。
※施工場所の気象条件（風、雪など）に合った製品かどうか確認してください。
※建物の屋根からの雪の落下を直接受けない位置かどうか確認してください。
※強風地域、特に崖上、屋上、風の通り道上などの施工は避けてください。
- ・傾斜地に設置する場合は、低い場所の埋込み深さを確保してください。
- ・崖縁などの高低差がある場所には設置しないでください。風当たりの強い場所では、風にあおられない向きに取付けてください。
- ・風当たりの強いところでは風が抜けなくなりますので、テラスの周囲を囲わないでください。
- ・一つの現場で同時に異なるサイズを施工する場合は、本来の製品性能を保持するために、部材を間違えないように確認してから施工を行なってください。
- ・外壁についている樋や配管などは避けて取付けてください。樋や配管を傷つける原因になります。
- ・既設のシャッターボックスのメンテナンススペースが確保できていることを確認した上で施工してください。
確保できない場合、メンテナンスができなくなることがあります。
- ・給湯器や暖房機などの熱排気が製品内（屋根・パネルなどで囲んだ内部）にこもるような場所に施工しないでください。
排気による中毒や塗装劣化・剥離（はくり）のおそれがあります。



🙏 お願い

- ・施工場所に寸法的に正しく納まるか確認してください。
- ・正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- ・製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- ・梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。

< 基礎工事について >

⚠ 注意

- ・基礎部の埋込み深さは製品ごとに決めています。現場によって(堅牢な地盤、軟弱な地盤など)基礎部のコンクリートの量(体積)を十分配慮してください。
- ・寒冷地で凍上するおそれのある地域で使用する場合は、凍上線の下まで基礎を設けてください。強度低下の原因になります。
- ・基礎は当社指定寸法以上にしてください。
- ・取付け前に調査を行い、地下埋設物(給排水管など)に影響をおよぼさないようにしてください。
- ・養生期間は十分(4日~1週間以上)にとり、その間は、重たいものをのせたり、振動を与えたりしないよう指示してください。
- ・埋込柱内部にモルタルやコンクリートなどが入ったり、水がたまらないようにしてください。柱内部の異常腐食や柱の凍結破損の原因になります。
- ・柱内の水抜きができるよう、基礎には必ず碎石を敷き、柱と基礎の付け根部に水抜き穴(φ6)をあけてください。
- ・柱内の水が凍結膨張し、柱が破損するおそれがあります。
- ・モルタルやコンクリートには、塩分を含む砂(海砂)および塩素系や強アルカリのコンクリート用混和材(凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤等)は使用しないでください。
使用するとアルミ等の金属が腐食する原因になります。必要な場合は非塩素系や非アルカリ系の混和剤をご使用ください。
- ・コンクリート強度は18N/mm²以上で施工してください。

お願い

- ・モルタルやコンクリート等が製品の表面に付着した場合は、速やかに拭取ってください。
シミやムラ等の外観不良の原因になります。

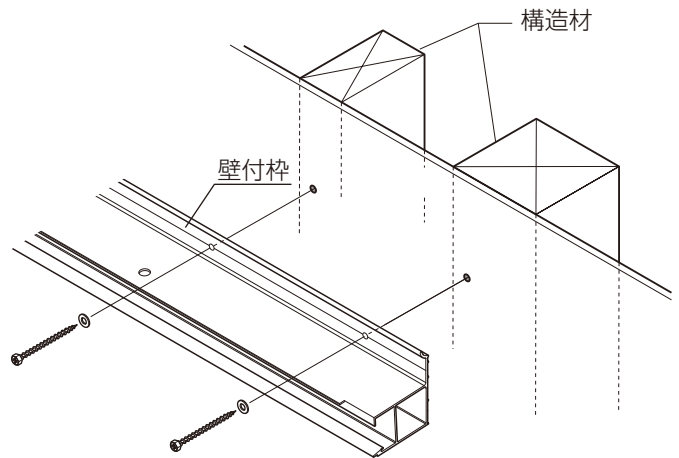
< 施工上のご注意 >

⚠ 注意

- ・アルミ製品が亜鉛ステンレス以外の金属と接触する場合は絶縁処理をしてください。
- ・製品の改造や指定箇所以外の穴加工はしないでください。
- ・壁付枠は、柱・間柱・胴差しなどの構造材に必ず止めてください。躯体位置がわからない場合、および躯体が強度保持できない場合は取付けしないでください。
- ・躯体が経年劣化などで損傷が著しい場合は、施主様と打合わせをし、必要に応じて補強してから取付けてください。
- ・プラグ類を使用して、モルタル部分だけに固定することは非常に危険です。絶対に行わないでください。
- ・タッピンねじの下穴には、指定より太いドリルを使用しないでください。
- ・柱の移動は当社指定範囲内にしてください。
- ・ボルト、ねじは当社純正品の規定本数を使い、下記の推奨締付けトルクで固定した後にゆるみがないか確認してください。
製品の強度低下、またはケガのおそれがあります。

※φ4ねじ : 2.0N・m ± 0.2N・m
※M6ボルト : 7.5N・m ± 0.2N・m

※φ5ねじ : 3.0N・m ± 0.2N・m
※M8ボルト : 10.0N・m ± 0.2N・m



- ・水濡れの原因になりますので、指定の箇所にシーリングをしてください。
- ・外壁の上から部材を取付ける場合は、コーキング材を下穴に充て込んでからねじ止めしてください。
- ・シリコンシーリング材を使用する場合は、当社指定の脱アルコール系シーリング材を使用してください。
- ・プライマーが必要な場合は必ず処理を施してからシーリングを行なってください。

シーリング材メーカー	品名および品番
信越化学工業(株)	シーラント 72
モメンティブ・パフォーマンス・マテリアルズ・ジャパン(合)	トスシール 380
ダウ・東レ(株)	SE960

< 施工上のご注意 (つづき) >

お願い

- ・施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
 - ※作業服および保護具(保護帽、安全带、眼、手、足の保護具)を正しく使用してください。
 - ※作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。
特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
 - ※器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
 - ※作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
 - ※作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分に確認し、健康管理を実施してください。
 - ※万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。
- ・製品についての汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は、補修塗料で補修してください。
- ・取付説明書の順序通りに組付けてください。製品の強度など、性能が低下する場合があります。
- ・腐食のおそれのある接着剤や化学製品を使用する場合は、製品と接触しないようにするか、接触する部分を完全に養生してください。
- ・柱の移動は当社指定範囲内に行ってください。
- ・水平・垂直は水準器などで正確に出してください。
- ・当社指定の付属品以外は取付けしないでください。
- ・組立施工時、施工チェックポイントを確認し、確実に施工されていることを確認してください。正しい取付けをしなかった場合、屋根材の落下などにより使用者などがケガを負うおそれや漏水の原因となります。

< 施工の後に >

⚠ 注意

- ・ボルト、ねじの締め忘れがないか確認し、ゆるんでいる場合は締めなおしてください。

お願い

- ・取扱説明書は施主様にお渡しください。

INDEX

INDEX	4	8 側枠の取付け	30
表示マーク	4	9 柱カバー・排水部品の取付け	31
施工の流れ	4	10 柱(基礎)	33
施工チェックポイント	5	連棟タイプの施工	34
シーリング箇所一覧	8	連棟の確認事項	35
各部の名称	10	基礎寸法の確認(連結部)	37
基本タイプの施工	12	1 事前準備	38
■ 基本の確認事項	12	2 壁付枠の取付け	39
1 事前準備	15	3 屋根部(1台目)の取付け	40
2 壁付枠の取付け	20	4 連棟部材(上)の取付け	41
3 柱の位置決め	21	5 屋根部(2台目)の取付け	42
4 梁柱固定金具と梁の取付け	23	6 連棟部材の取付け	43
5 壁付枠と梁の仮固定	24	梱包明細表	45
6 屋根材の取付け	25		
7 後枠の取付け	28		

表示マーク



独立基礎で
施工の場合



柱位置を移動して
施工の場合



「連棟」を施工の
場合



オプション
製品



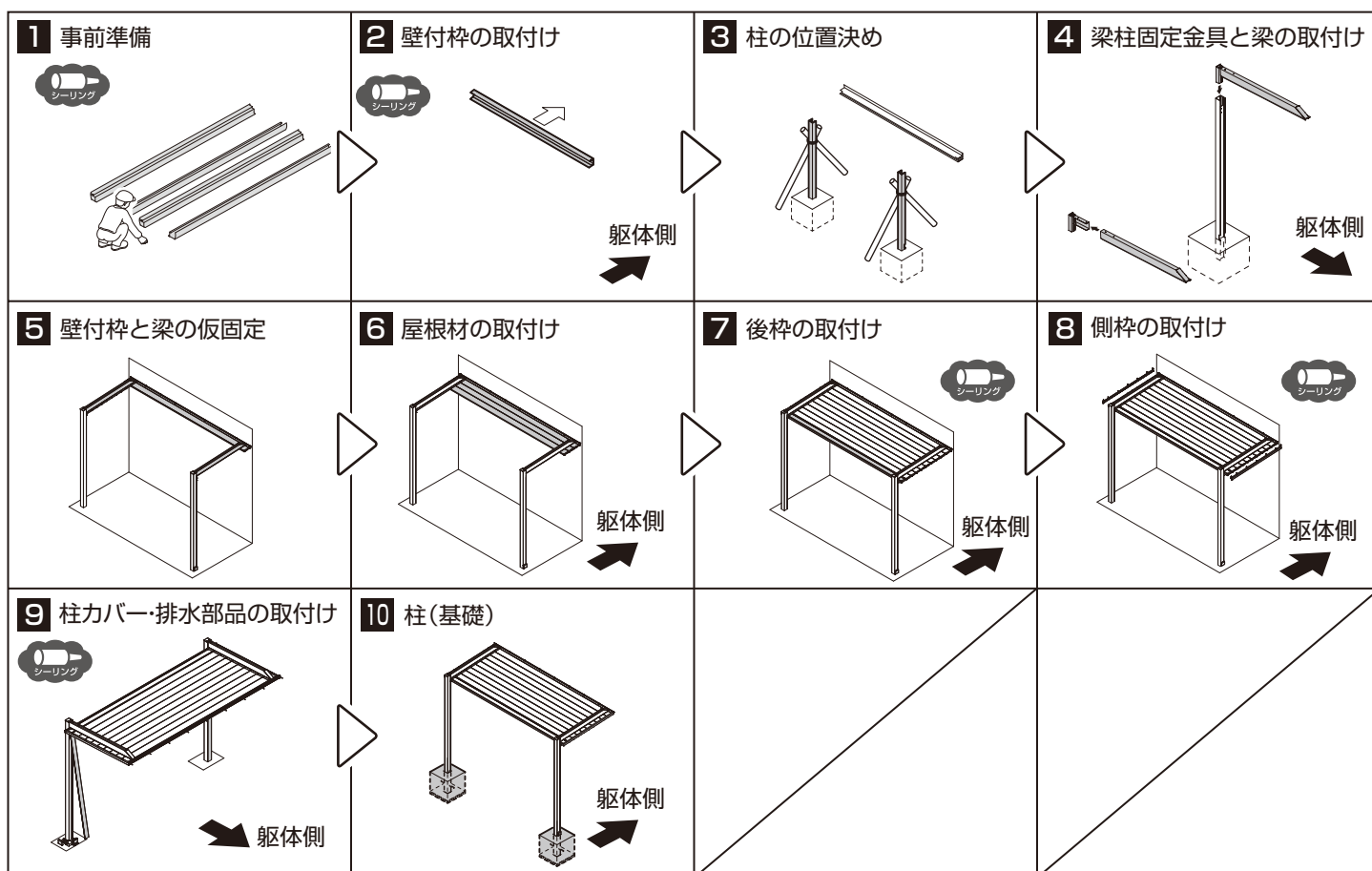
シーリング
箇所



下記のオプションを取付ける場合は、
対応した取付説明書を併せて参照してください。

- 「テラスSC 屋根照明(独立タイプ 壁付タイプ テラスタイプ) 取付説明書(MAN-702)」
- 「スタイルシェード(アルミ屋根付用) 取付説明書(MAN-704)」
- 「吊り下げ物干しA・B/前後移動物干し 取付説明書(M942)」
- 「クリーンハンガー 取付説明書(E437)」
- 「可動竿掛け(着脱式) 取付説明書(E268)」
- 「カーポート共通部品 雨樋ネット(アーキフィールド・SC)(D560)」
- 「テラスSC 柱照明(独立タイプ 壁付タイプ テラスタイプ) 取付説明書(MAN-724)」
- 「テラス(デッキ接続) 取付説明書(MAN-705)」

施工の流れ



施工チェックポイント

重要

- ・組立施工時、下記項目を確認し、確実に施工されていることを確認してください。
- ・正しい取付けをしなかった場合、屋根材の落下などにより、使用者などがケガを負うおそれがあります。

① 梱包の向きの確認

チェック欄

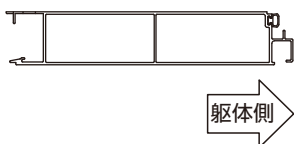
●矢印の向きに従って梱包を配置していますか？

※矢印の向きに梱包を配置することで
屋根材の嵌合方向が統一され、
施工しやすくなります。

P.25



●屋根材

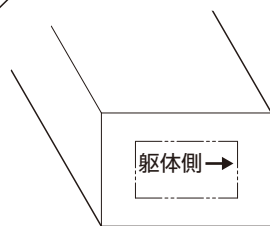


躯体側

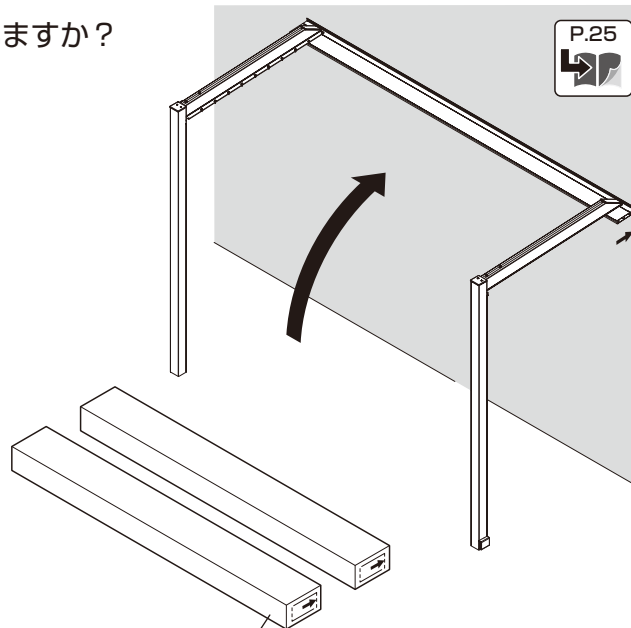
●後枠



躯体側



屋根材・後枠セット



屋根材・後枠セット

② 水抜き穴の確認

チェック欄

●柱に水抜き穴はあけていますか？

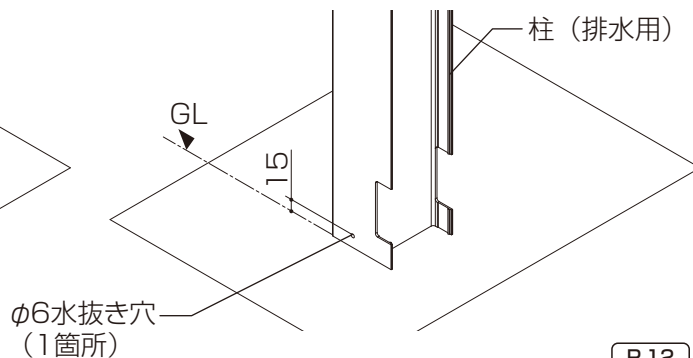
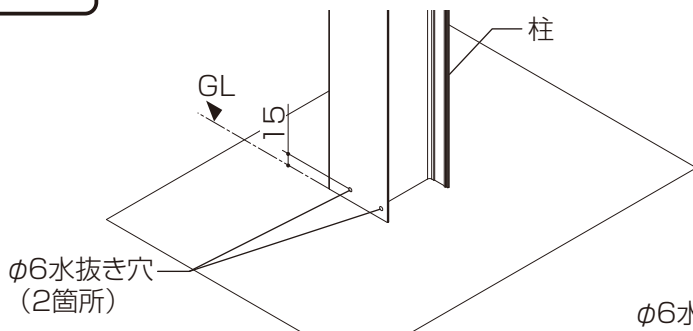
※凍結により柱の破損のおそれがあります。

P.22



■柱

■柱(排水側)



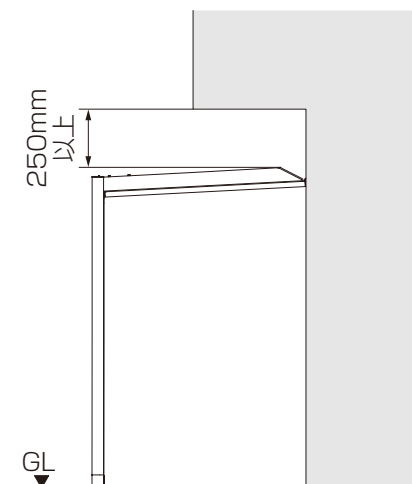
③ 屋根部まわりの障害物の確認

チェック欄

●屋根まわりに障害物は
ありませんか？

※梁が取付けられないことが
あります。

P.12



次ページに続く

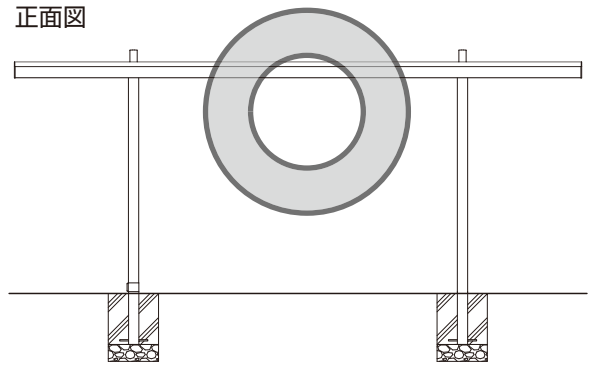
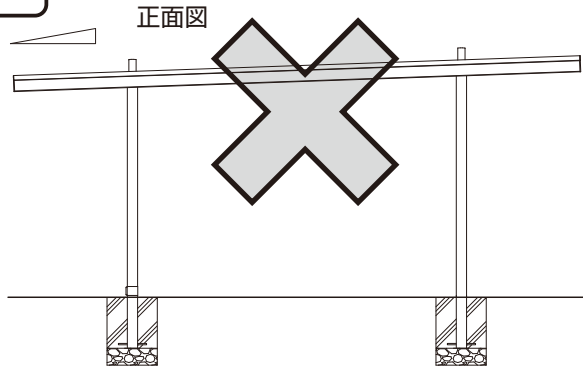
④屋根部の水平・直角確認

チェック欄

●屋根部は“水勾配なし”になっていますか？

※排水部が端部にないため、水勾配を設けると雨水がたまり、雨漏れの原因になります。

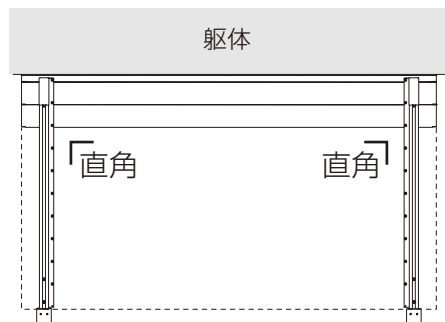
P.12



●屋根部と梁が直角になっていますか？

※屋根材が取付けできないことがあります。

平面図

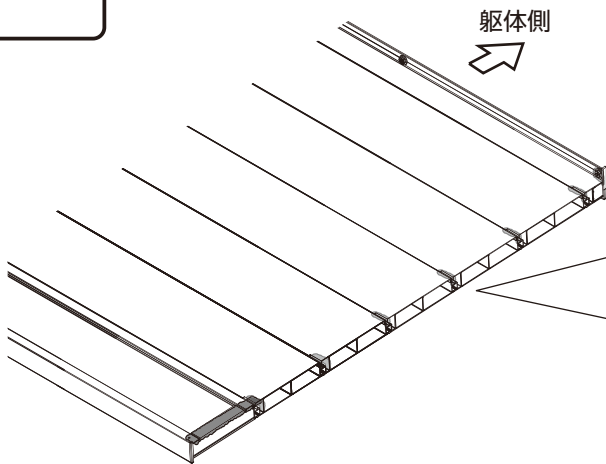


⑤屋根切り欠き部の確認

チェック欄

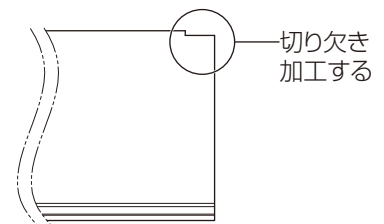
●屋根切り詰めをした場合、切り欠き加工をしていますか？

P.19



⚠ 注意

屋根切り詰めをした場合は、屋根端部に切り欠き加工をしてください。



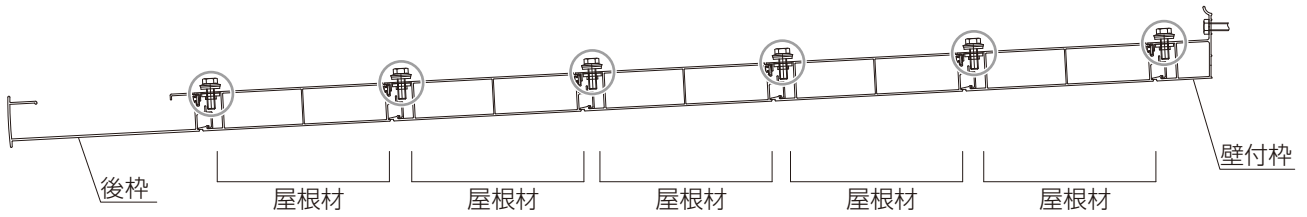
次ページに続く

⑥ 施工完了後、ボルト・ねじの締め忘れがないか確認

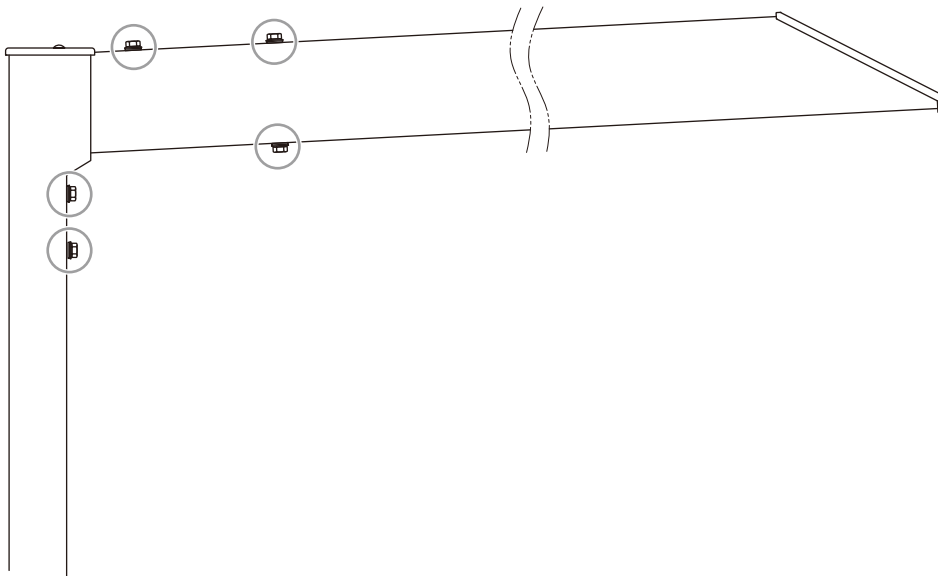
チェック欄

● 柱・梁のボルトと、屋根材・壁付枠と梁を取付けているボルトに緩みがないか確認してください。

※ 屋根のバタつきや漏水の原因になります。



● 梁柱固定金具



シーリング箇所一覧

①後枠コーナーキャップ P.15

チェック欄

シーリング

内側から見る 外側から見る

②テラス用壁付枠コーナーキャップ P.30

チェック欄

シーリング

壁付枠

テラス用壁付枠コーナーキャップ

側枠

④雨樋穴ふさぎキャップ P.16

チェック欄

シーリング

雨樋穴ふさぎキャップ

下面

後枠

下から見る

雨樋穴ふさぎキャップ

⑤柱上部キャップ P.29

チェック欄

【9-3】φ5×20
トラスタッピンねじ3種

柱上部キャップ

躯体側

シーリング

⑩排水部品A・B P.31-32

チェック欄

シーリング

排水部品A

排水部品B

下から見る

柱(排水用)

柱力バー(排水用)

左側から見る

右側から見る

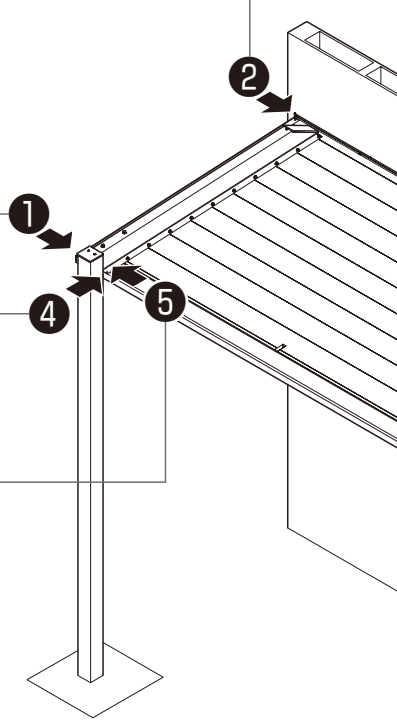
⑧集水部品 P.16

チェック欄

シーリング

集水部品

集水部品背面



③壁付枠

チェック欄

シーリング
壁付枠

構造材

P.20

シーリング

⑥梁キャップ

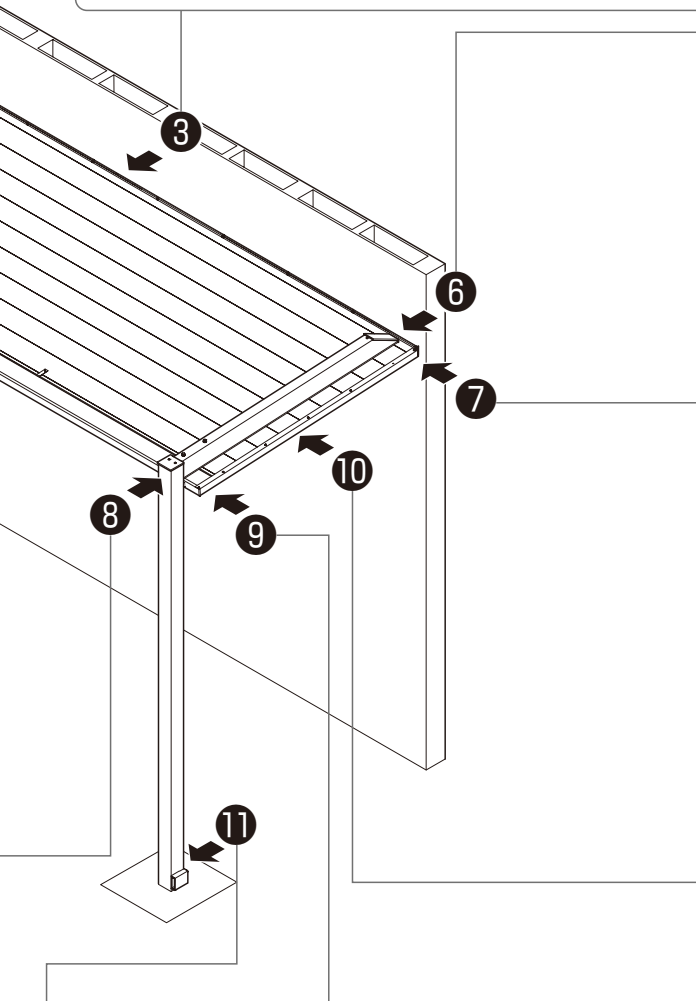
チェック欄

梁キャップ

P.17

シーリング

梁方向から裏面を見た図



⑦テラス用壁付枠コーナーキャップ

チェック欄

テラス用壁付枠コーナーキャップ

P.15

シーリング

⑩屋根材端部

チェック欄

後枠コーナーキャップ

壁付枠

屋根材

屋根材

後枠

ヘラ

P.30

シーリング

⚠ 注意

破線部分にシーリングしないようにしてください。

端部にもシーリングをしてください。

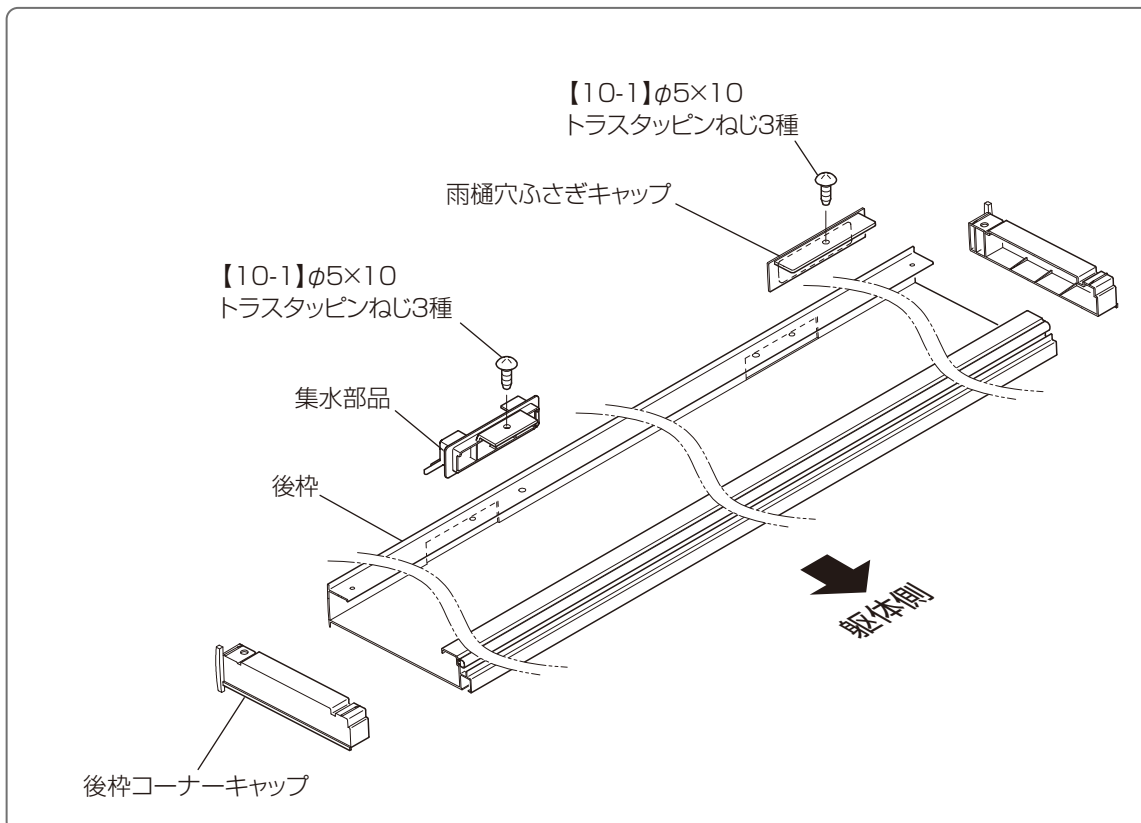
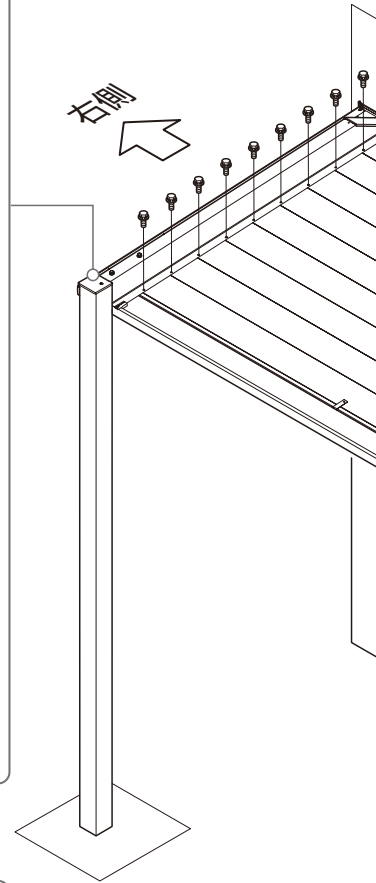
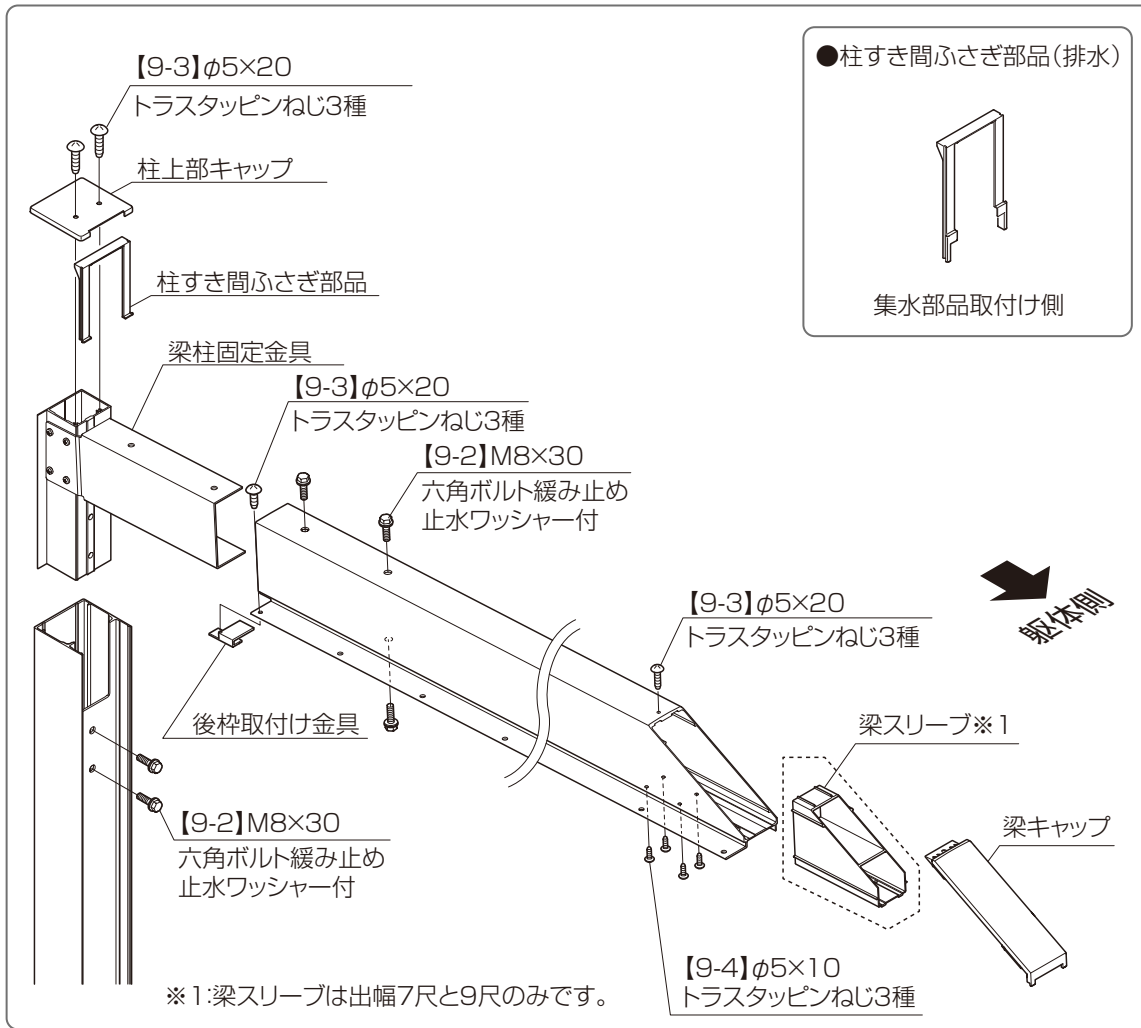
⑨後枠コーナーキャップ上部

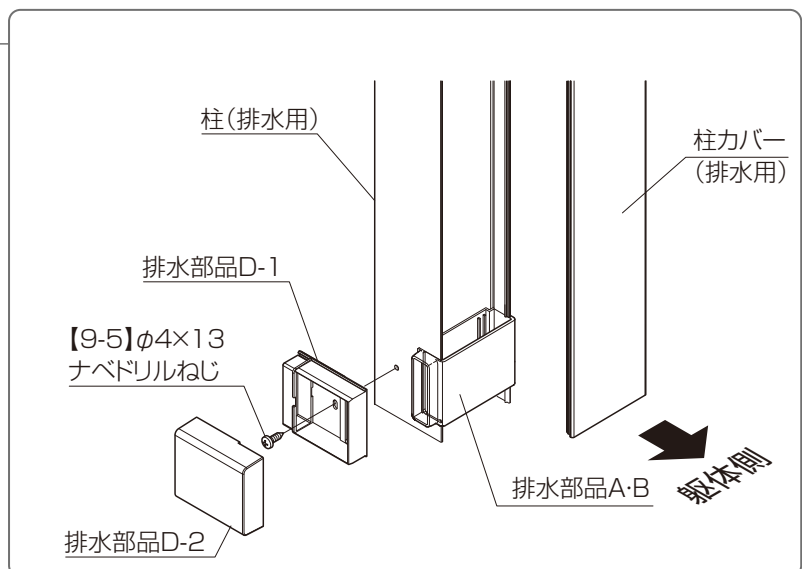
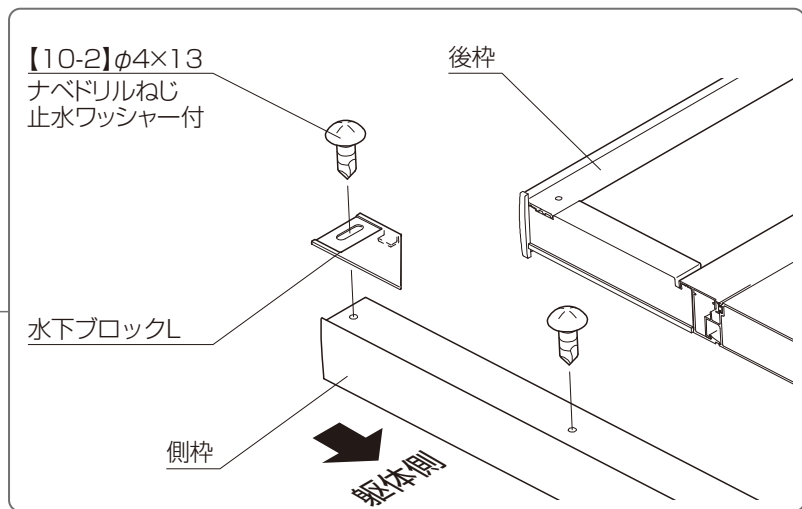
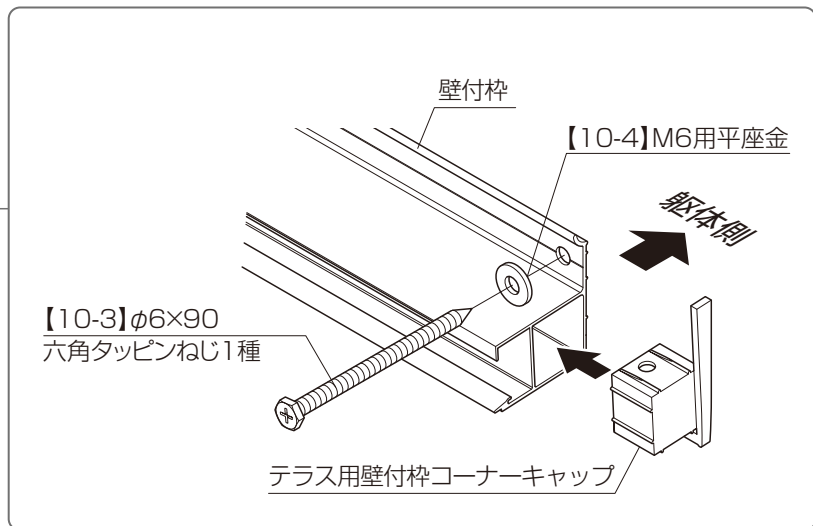
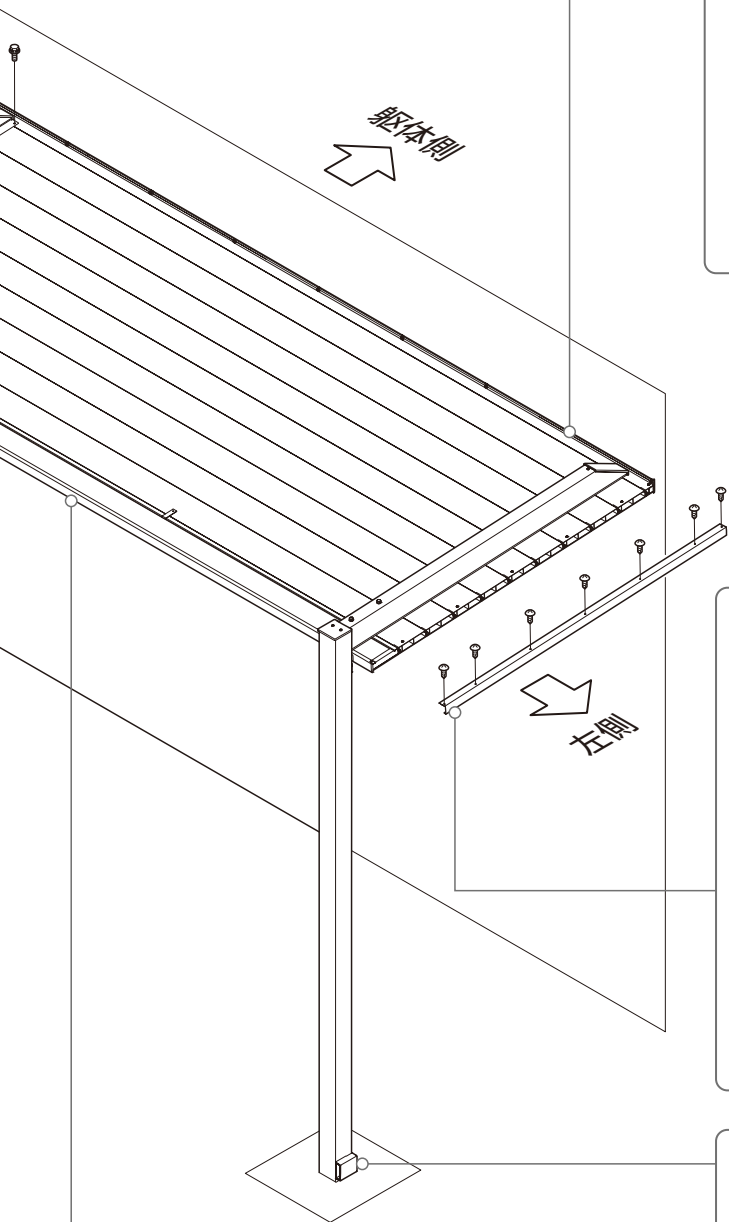
チェック欄

シーリング

P.30

各部の名称





基本タイプの施工

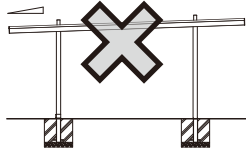
基本の確認事項

☐ 姿図

お願い

屋根部に水勾配はつけないでください。

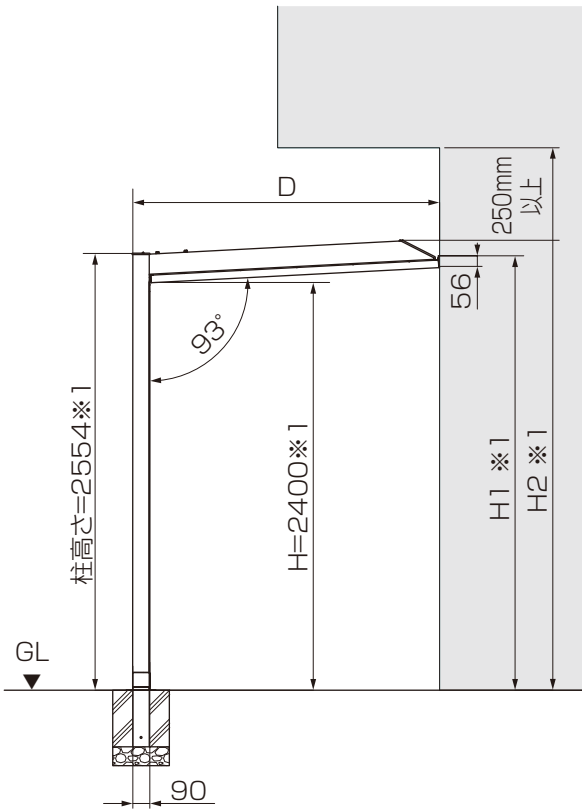
排水部が端部にないため、水勾配を設けると雨水がたまることがあります。



P.6 チェックポイント④

お願い

柱内の水が抜けるように必ず碎石を敷いてください。



※1:柱の高さは標準柱[H24]の場合を示しています。長尺柱[H30]の場合は+600mmとなります。

出幅	D	H1	H2
4R	1032	2510	2592
5R	1329	2526	2608
6R	1627	2541	2623
7R	1924	2557	2639
9R	2520	2588	2670

⚠ 注意



【柱移動】をする場合

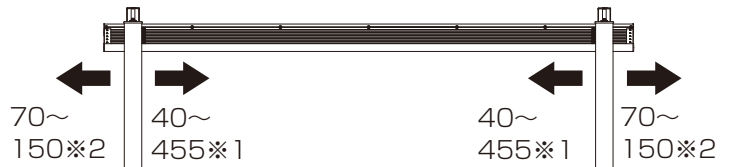


柱移動の場合の作業です。

●柱は外側150mm、内側455mm以内で移動してください。ただし、柱外側70mm、柱内側40mmの範囲は移動できません。※1

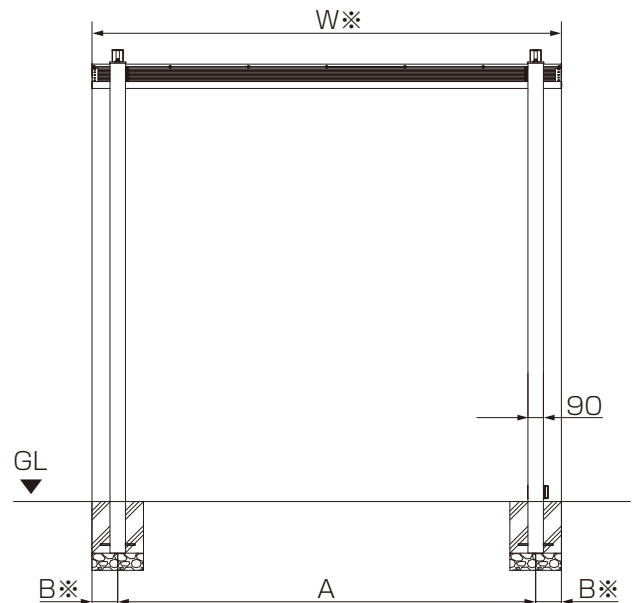
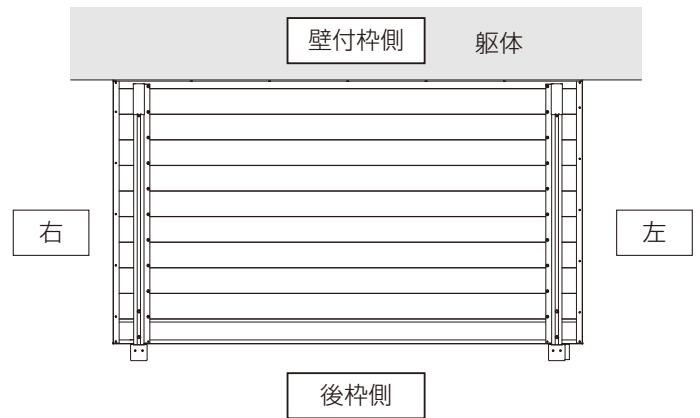
●柱を101mm以上移動させる場合、両側の柱を均等に移動させてください。

※1:他の部材と干渉するため、取付け不可となります。



※1:3.0間の柱移動をする場合は40~250です。

※2:柱移動をする場合は3.0間のみです。



間口	W	A	B
1.5間	2730	2430	150
2.0間	3640	3340	150
2.5間	4550	3340	605
3.0間	5460	3340	1060

※照明用側柱を使用する場合、片側のみ使用は+14.5mm、両側使用は+29mmしてください。

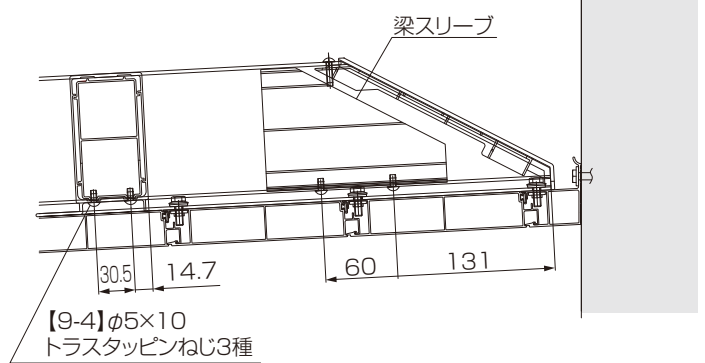
基本納まり図

●出幅方向

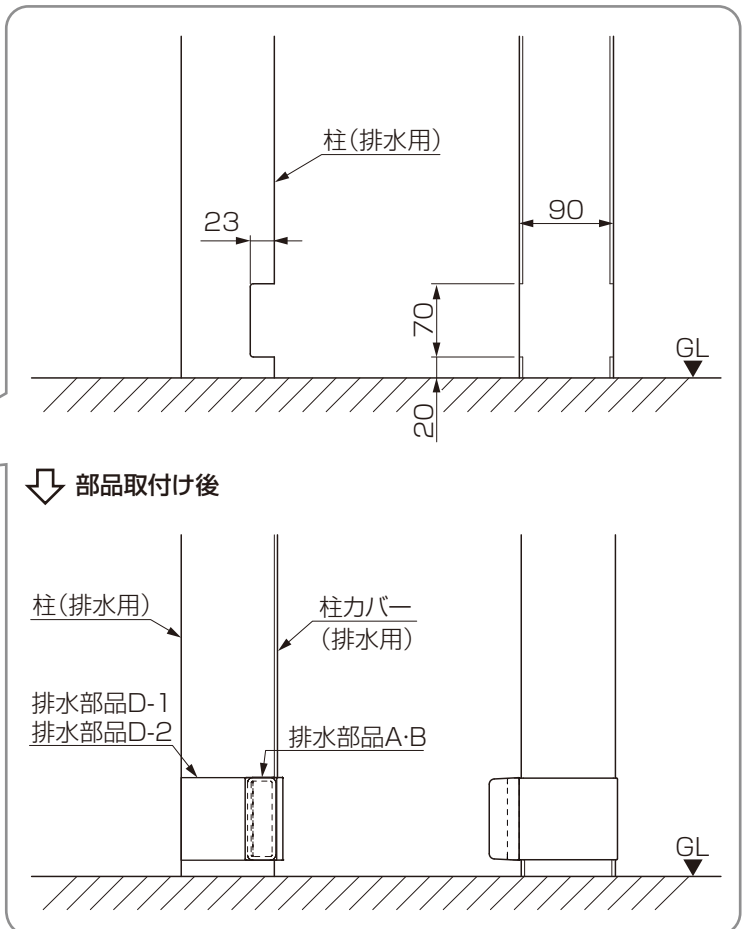
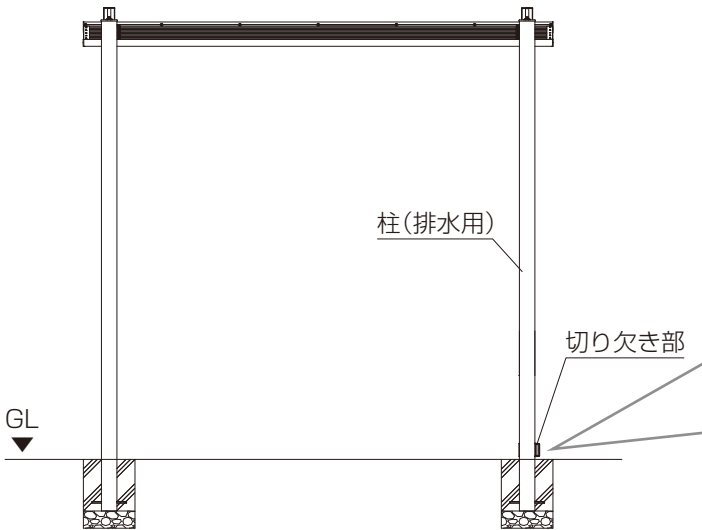


[]内は長尺柱[H30]の場合を示す。

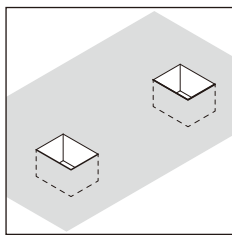
〈出幅7尺、出幅9尺の場合〉



●排水部

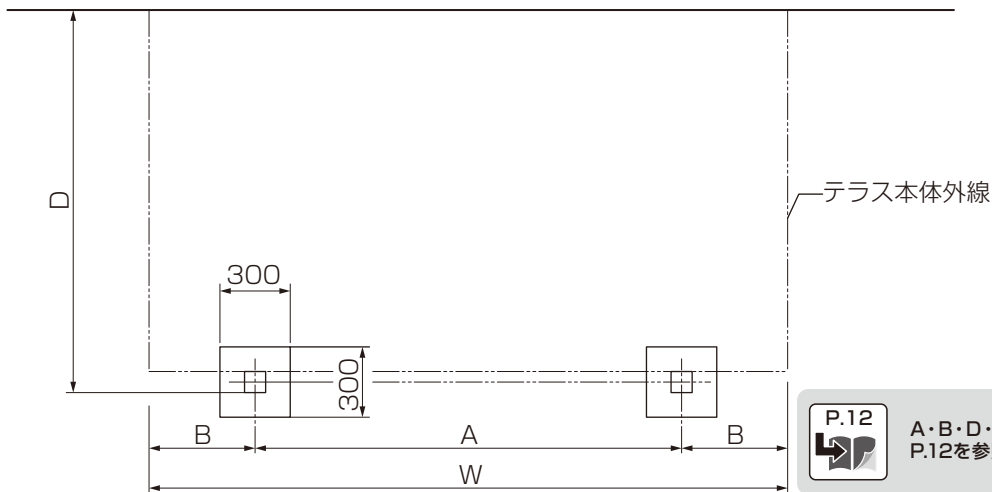


□ 基礎の墨出し



下記のオプションを取付ける場合は、
対応した取付説明書を併せて参照してください。

「テラスSC 屋根照明(独立タイプ 壁付タイプ テラスタイプ) 取付説明書(MAN-702)」
「テラスSC 柱照明(独立タイプ 壁付タイプ テラスタイプ) 取付説明書(MAN-724)」
「テラス(デッキ接続) 取付説明書(MAN-705)」



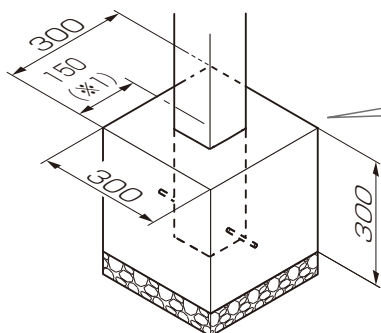
P.12
A・B・D・W寸法は、
P.12を参照してください。

□ 基礎寸法の確認

基礎穴寸法を確認してください。



【独立基礎仕上げ】の場合の作業です。

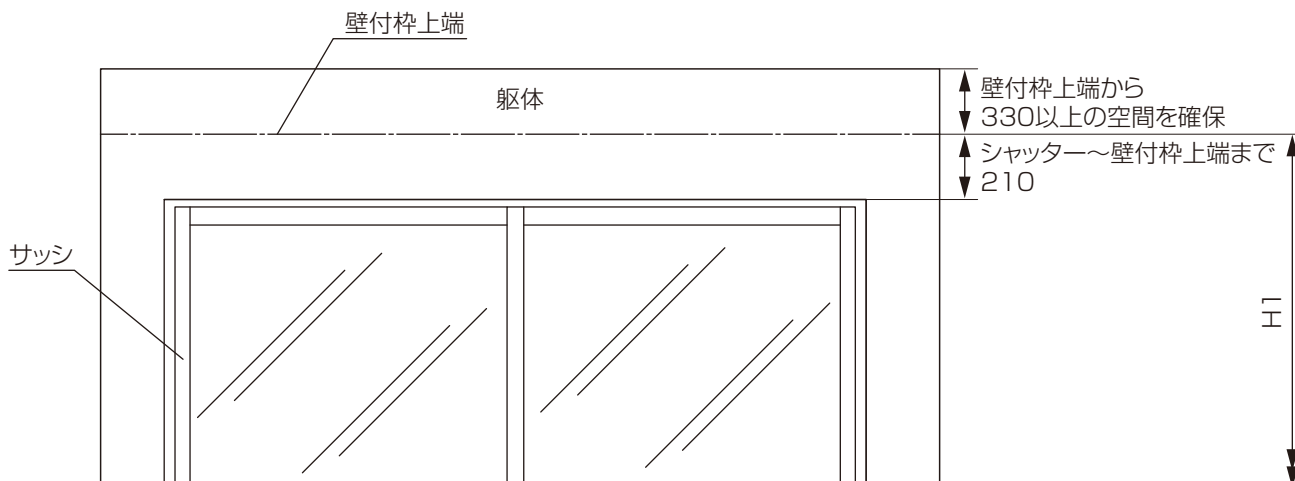


補 足

(※1) は柱芯から基礎端面までの寸法です。

□ 壁付枠位置の墨出し

- ・壁付枠上端から330mm以上確保した位置に墨出しをしてください
寸法を確保できない場合、梁が干渉し取付けられないことがあります。
- ・開口部にシャッターがある場合はシャッター～壁付枠上端まで210mm以上確保してください。
寸法を確保できない場合、シャッターが干渉し屋根材が取付けられないことがあります。



1 事前準備



柱移動をする場合、P.18を参照して部材を加工してください。



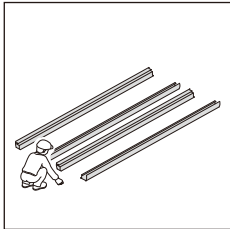
間口を切詰める場合、P.19を参照して部材を加工してください。



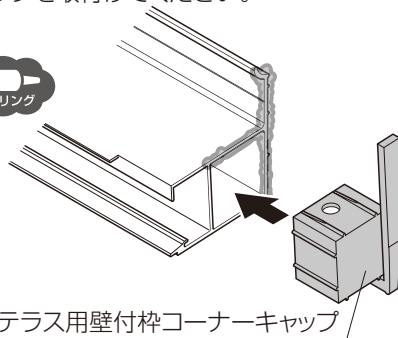
下記のオプションを取付ける場合は、対応した取付説明書を併せて参照してください。

- 「テラスSC 屋根照明(独立タイプ 壁付タイプ テラスタイプ) 取付説明書(MAN-702)」
- 「スタイルシェード(アルミ屋根付用)取付説明書(MAN-704)」
- 「吊り下げ物干しA・B/前後移動物干し 取付け説明書(M942)」
- 「クリーンハンガー 取付説明書(E437)」
- 「可動竿掛け(着脱式) 取付説明書(E268)」
- 「テラスSC 柱照明(独立タイプ 壁付タイプ テラスタイプ) 取付説明書(MAN-724)」

1 壁付枠への部品の取付け



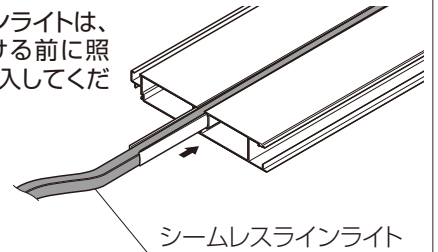
- ①壁付枠にシーリングし、テラス用壁付枠コーナーキャップを取付けてください。



テラス用壁付枠コーナーキャップ

お願い

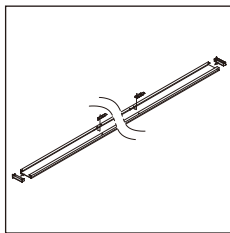
シームレスラインライトは、屋根材を組付ける前に照明用屋根材に挿入してください。



シームレスラインライト

挿入方法は「テラスSC 屋根照明(独立タイプ 壁付タイプ テラスタイプ) 取付説明書(MAN-702)」を参照してください。

2 後枠への部品の取付け



- ①後枠に墨出しをいれてください。
- ②後枠両端部にシーリング材を塗布してください。
- ③後枠コーナーキャップR、後枠コーナーキャップLを後枠に差込んでください。
- ④後枠コーナーキャップR、後枠コーナーキャップLを取付け後に、外側から隙間にシーリング材を塗布してください。
- ⑤内側からはみ出したシーリング材をヘラでならしてください。



下記のオプションを取付ける場合は、対応した取付説明書を併せて参照してください。

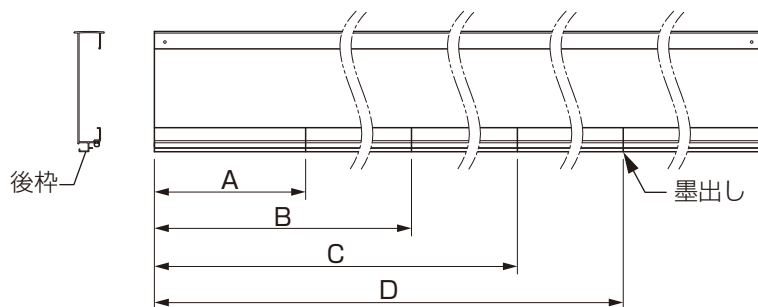
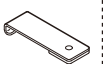
「テラスSC 屋根照明(独立タイプ 壁付タイプ テラスタイプ) 取付説明書(MAN-702)」

補足

後枠固定金具を取付けるための処理です。

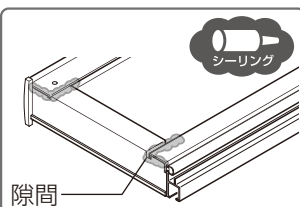


P.29 後枠固定金具については、P.29も確認してください。

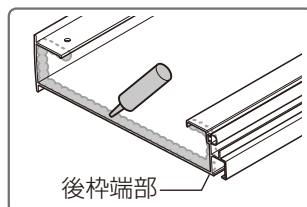


後枠

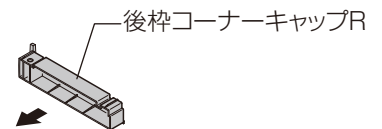
墨出し



隙間



後枠端部



後枠コーナーキャップR

お願い

後枠コーナーキャップを差込んだときに、シーリング材が途切れないようにシーリング材を多めに塗布してください。

お願い

内側に溜まったシーリング材を、隙間なくヘラでならしてください。シーリング材が溜まっていない場合は、内側からシーリング材を塗布してください。

後枠コーナーキャップL

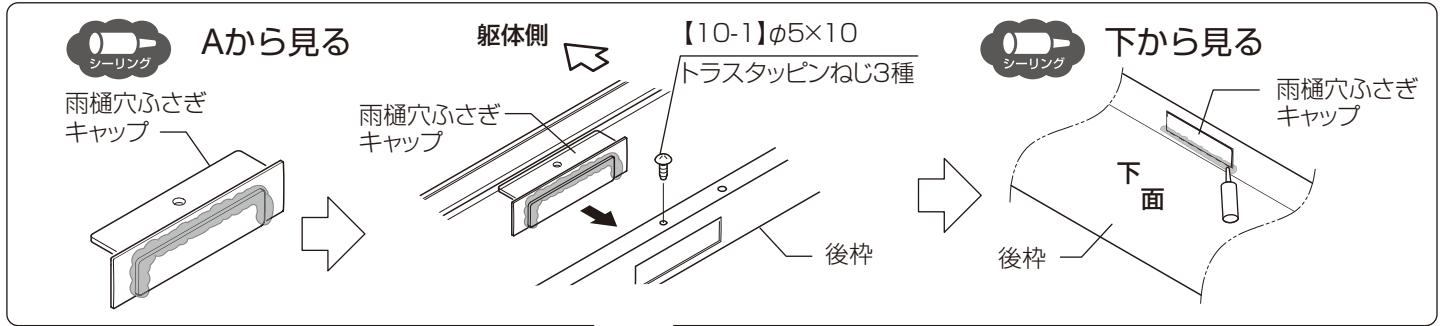
後枠

ヘラ

間口	個数	A	B	C	D
1.5間	2	957.5	1767.5	—	—
2.0間	2	1261	2374	—	—
2.5間	2	1716	2829	—	—
3.0間	4	530	2171	3284	4925

② 後枠への部品の取付け (つづき)

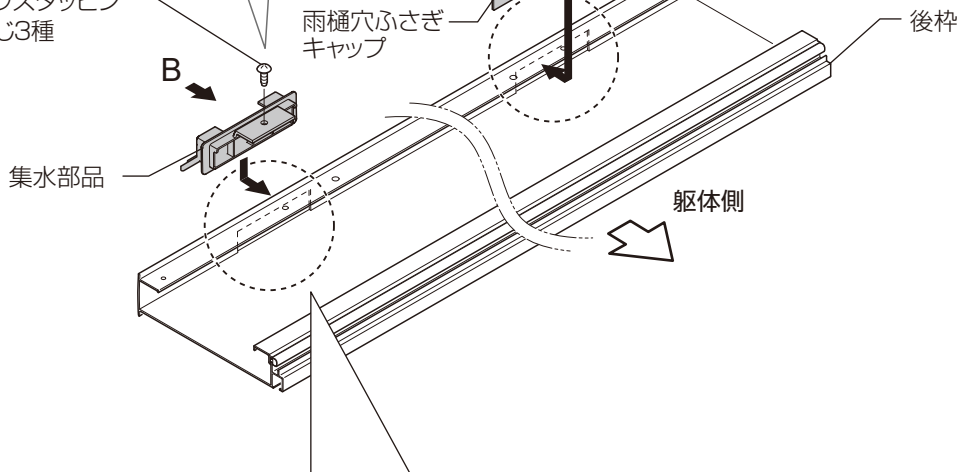
③集水部品・雨樋穴ふさぎキャップにシーリングをし、後枠に【10-1】で取付けてください。



お願い

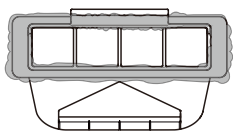
柱(排水側)に集水部品を取付けてください。

【10-1】φ5×10
トラスタッピン
ねじ3種

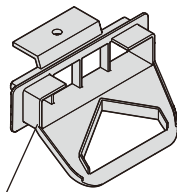


Bから見る

集水部品背面

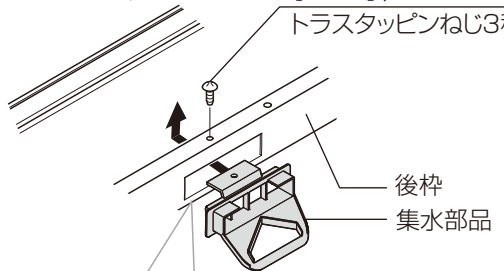


集水部品



躯体側

【10-1】φ5×10
トラスタッピンねじ3種

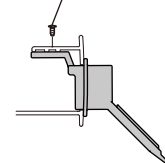


補足

集水部品は位置固定ねじ用の面を先に入れて回転させ、取付けてください。



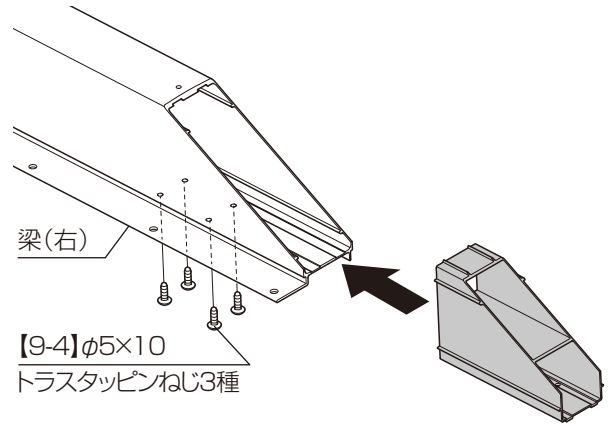
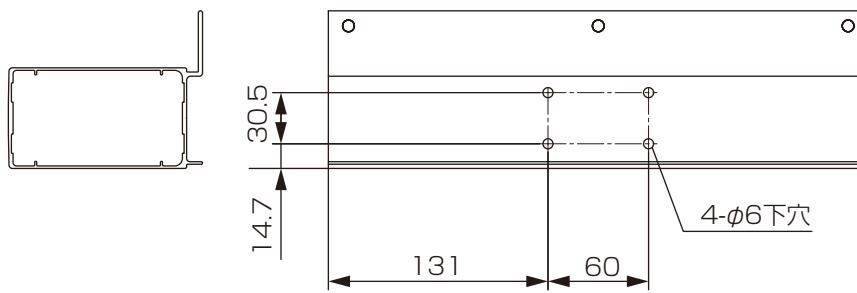
③ねじで固定する



3 梁への部品の取付け

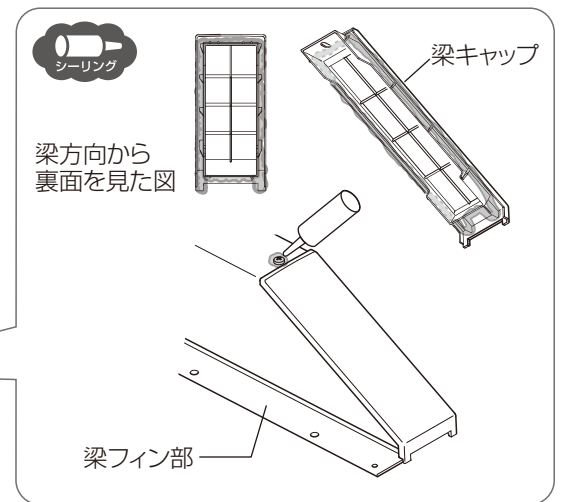
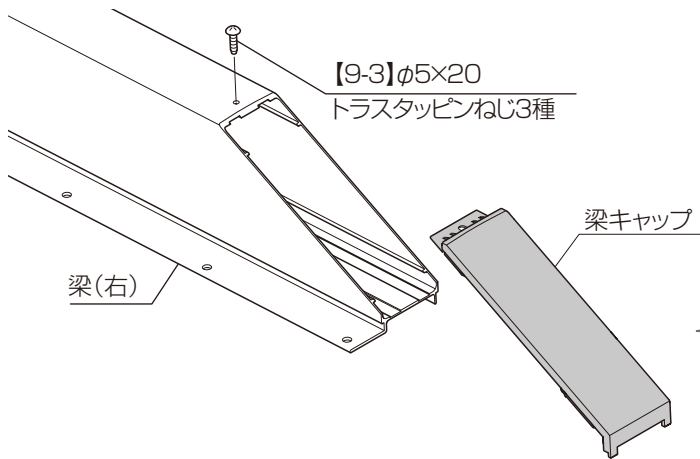
〈出幅7尺・9尺の場合のみ〉

- ①梁にφ6穴を開けてください。
- ②梁スリーブを【9-4】で梁に取付けてください。



〈共通〉

- ③梁キャップにシーリングし、梁に【9-3】で固定してください。

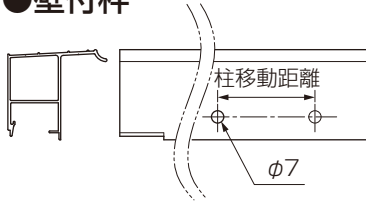


柱移動の場合

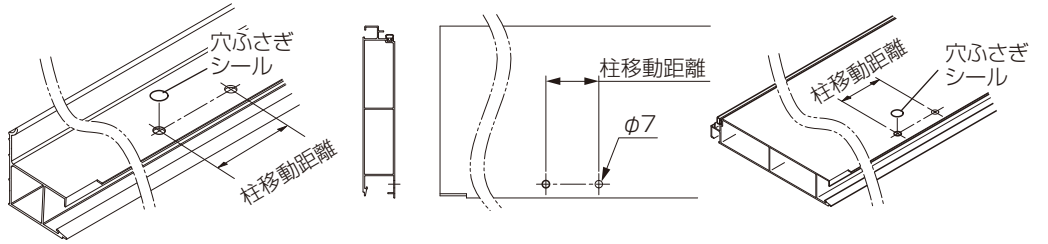
- ①壁付枠・屋根材・後枠に穴加工を行なってください。
- ②既存穴に穴ふさぎシールを貼ってください。
- ③後枠の排水側に集水部品と加工した雨樋穴ふさぎキャップを取付けてください。



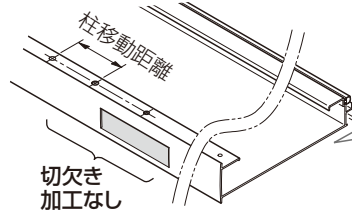
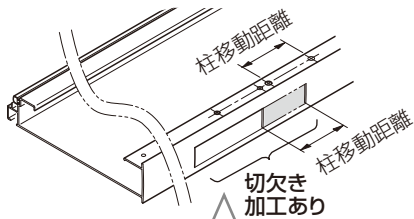
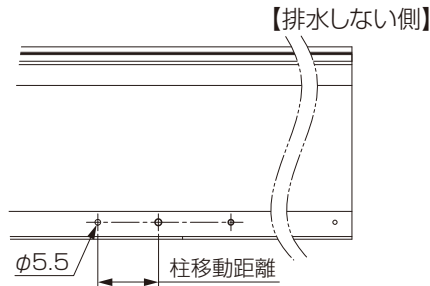
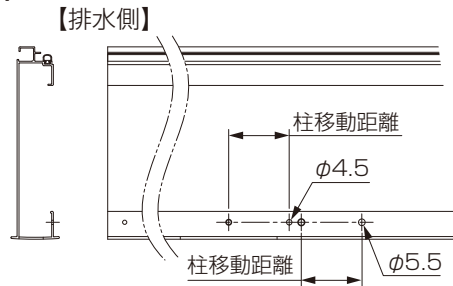
●壁付枠



●屋根材



●後枠



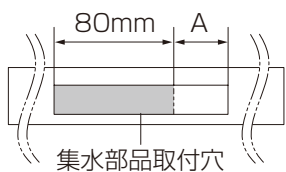
補足

【雨樋穴ふさぎキャップ】の加工は、必要ありません。

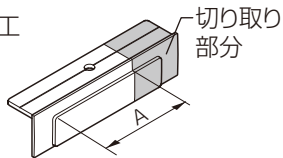
排水柱を移動する場合

●【雨樋穴ふさぎキャップ】の加工

集水部品取付穴が80mmになるように、雨樋穴ふさぎキャップを加工してください。

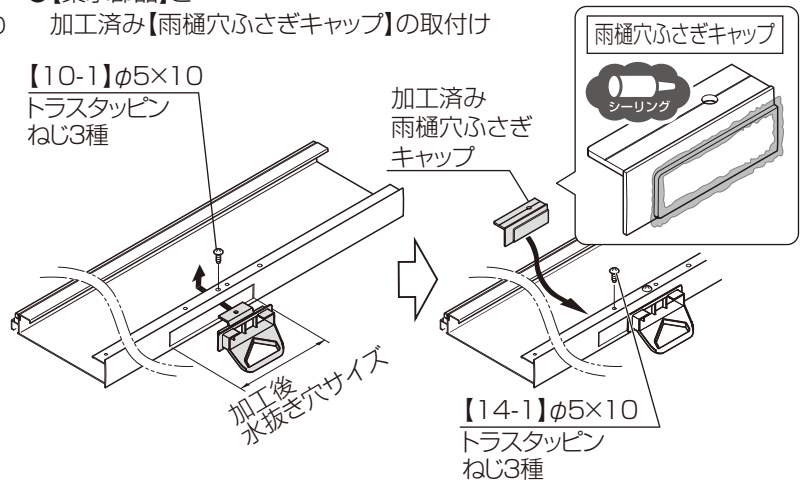


※排水柱で無い場合は、加工は必要ありません。



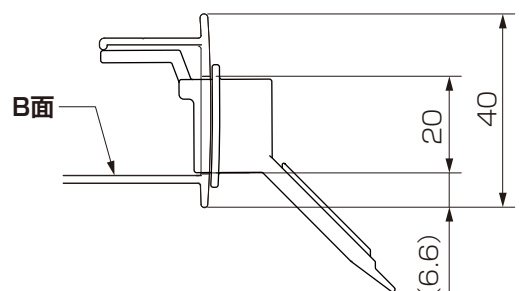
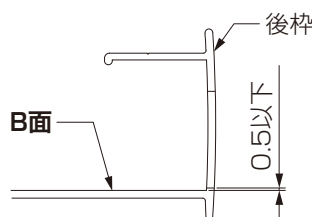
●【集水部品】と加工済み【雨樋穴ふさぎキャップ】の取付け

【10-1】φ5×10
トラスタッピン
ねじ3種



お願い

B面からの切り残しは0.5mm以下としてください。集水部品を取付けることができなくなります。



□ 間口を切詰める場合

- ①壁付枠・屋根材・後枠を切詰めてください。
- ②切詰めた壁付枠・屋根材の端部に切欠き加工をしてください。

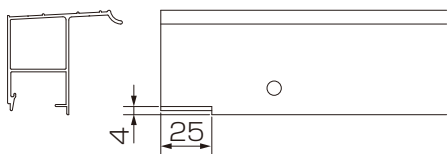


切詰める場合は、スマートフォンで屋根切り詰め寸法表が確認できます。

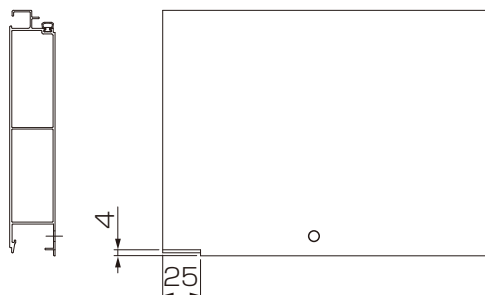


「現場切詰め 取付説明書(EXM-117)」

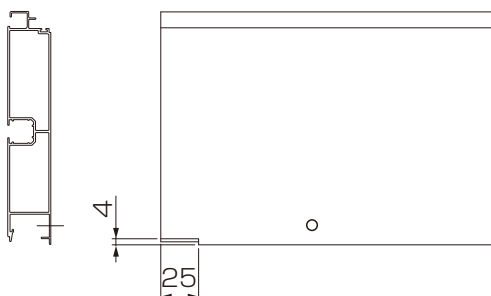
● 壁付枠



● 屋根材



● ライン照明屋根材



下記のオプションを取付ける場合は、対応した取付説明書を併せて参照してください。

「テラスSC 屋根照明(独立タイプ 壁付タイプ テラスタイプ) 取付説明書(MAN-702)」

⚠ 注意

切り欠き加工がない場合、シーリング処理ができないため、漏水の原因になります。



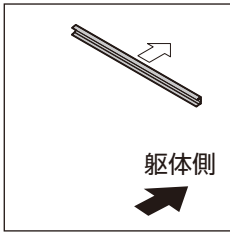
チェックポイント⑤

お願い

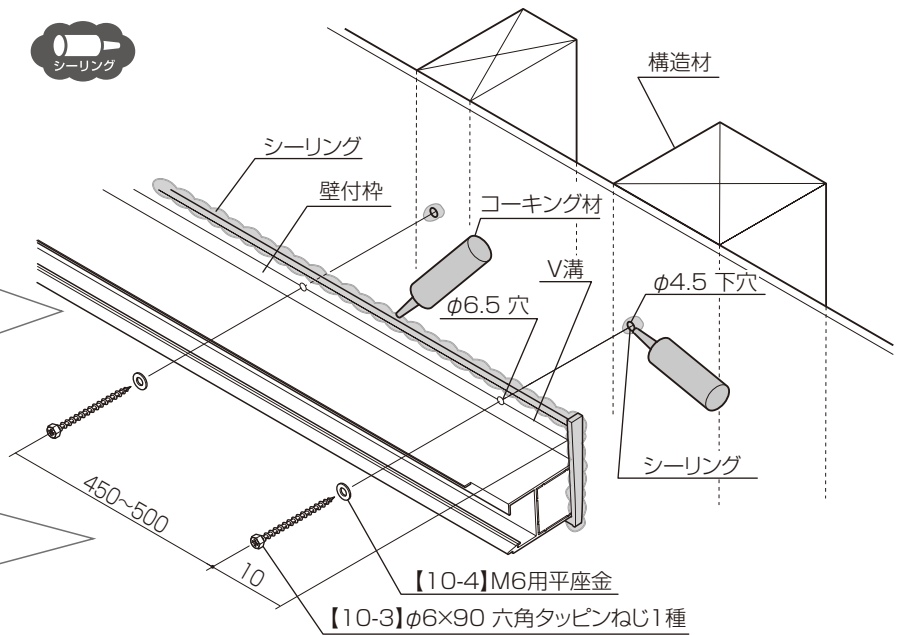
シームレスラインライトを取付ける場合、屋根部の切詰め寸法に制限があります。

- シームレスラインライトを切詰める場合は、「テラス SC 屋根照明(独立タイプ 壁付タイプ テラスタイプ) 取付説明書(MAN-702)」の〈シームレスラインライト切詰め方法〉を参照してください。
- シームレスラインライトが特注品の場合は、「テラス SC 屋根照明(独立タイプ 壁付タイプ テラスタイプ) 取付説明書(MAN-702)」の〈シームレスラインライト特注寸法一覧〉を参照してください。

2 壁付枠の取付け



● 躯体の柱および間柱の位置に合わせて、上側のV溝の位置にφ6.5の穴をあけてください。



お願い

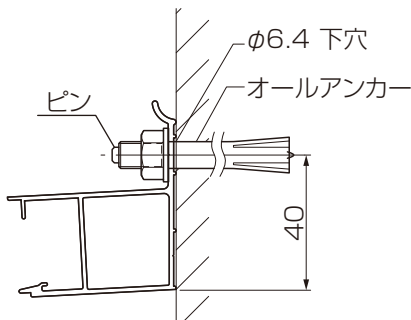
連棟タイプの場合、2体目以降の壁付枠も同時に取付けます。P.39を参照してください。

お願い

連棟タイプの場合、連棟側の壁付枠端部にねじを取付けしないでください。壁付枠連結スリーブ(連棟用)で躯体に取付けます。P.39を参照してください。

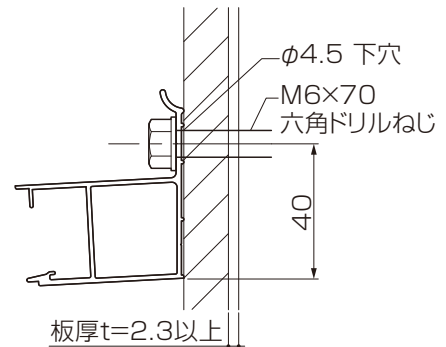
〈RC構造の場合〉

● φ6.4mmの下穴をあけ、切粉を除去し、取付けてください。



〈軽量鉄骨構造の場合〉

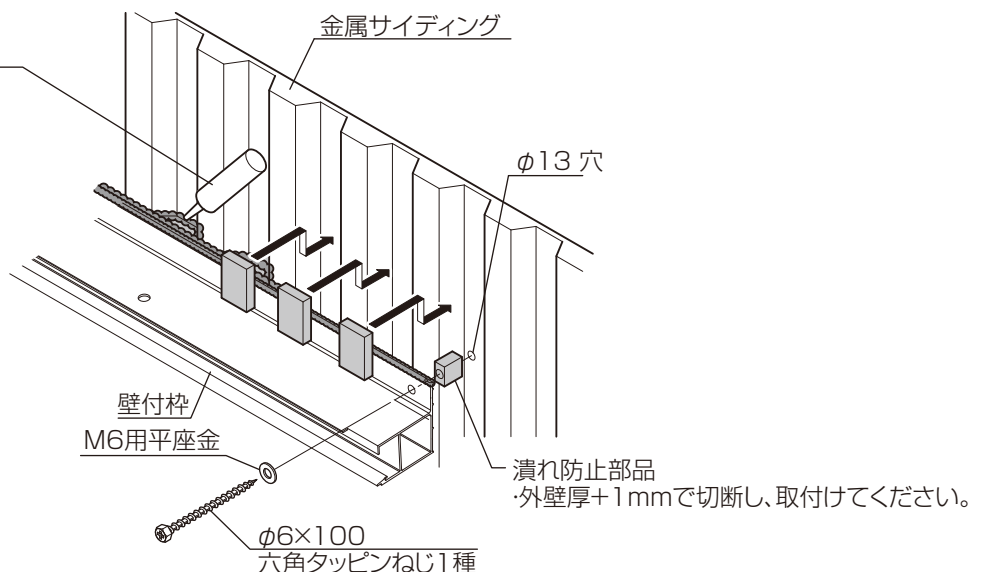
● 鉄骨の板厚が2.3mm以上あることを確認し、取付けてください。
● 締付けの際、インパクトドライバーを使用しないでください。



※ 同梱の袋ナットを使用する場合、埋め込み深さを調整し、ピンを切断して取付けてください。

〈金属サイディングへの取付けの場合〉

スパンサイディング用バックアップ材
※ スパンサイディング縦張りの場合のみ必要
・ 各スパンに張付けてください。
・ 張付け後はシーリングしてください。



※ 固定ねじの締め込み過ぎにより、金属サイディングが潰れないようご注意ください。

3 柱の位置決め

□ 柱の加工（柱を切詰める場合）

- ①柱（排水用）に切欠きを移動する加工を行ってください。
- ②柱カバーに切断加工を行ってください。



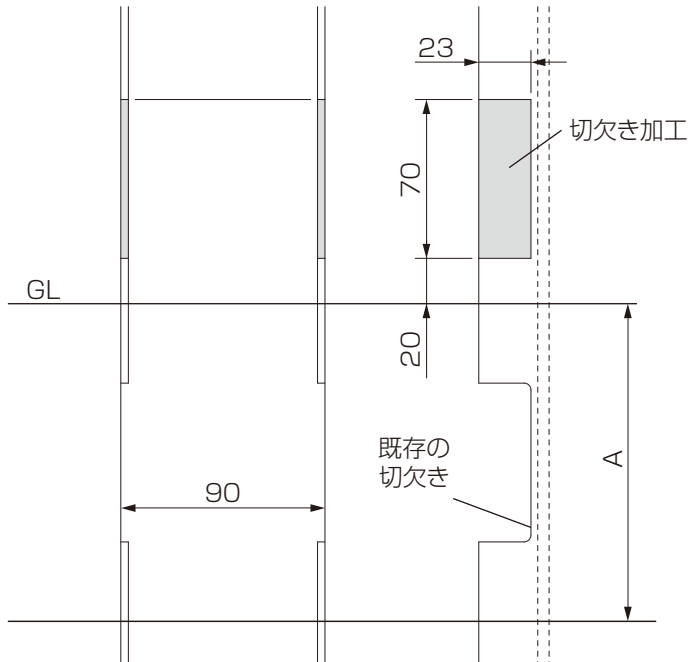
下記のオプションを取付ける場合は、追加で柱と柱カバー加工をします。対応した取付説明書を併せて参照してください。

「テラスSC 屋根照明（独立タイプ 壁付タイプ テラスタイプ）取付説明書（MAN-702）」
「テラス（デッキ接続）取付説明書（MAN-705）」
「テラスSC 柱照明（独立タイプ 壁付タイプ テラスタイプ）取付説明書（MAN-724）」

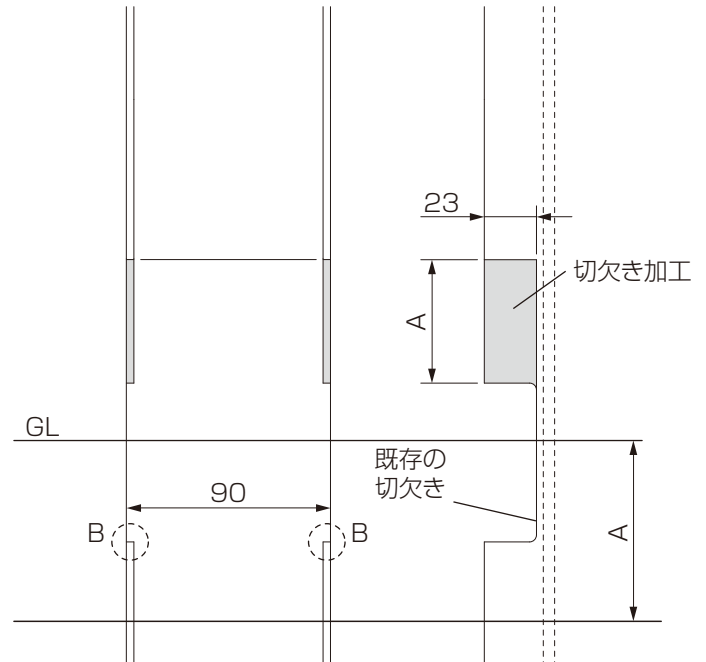
● 加工寸法

【柱（排水用）】

切詰め寸法Aが70mm以上の場合



切詰め寸法Aが70mm以下の場合

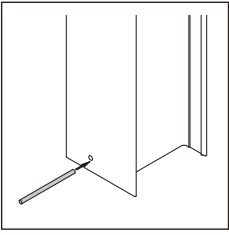


※B部がGLより上になる場合は、既存の切欠きの角が露出しますので、切り落とすか基礎の中に埋める等の処理をしてください。

【柱カバー】



アンカー棒の取付け

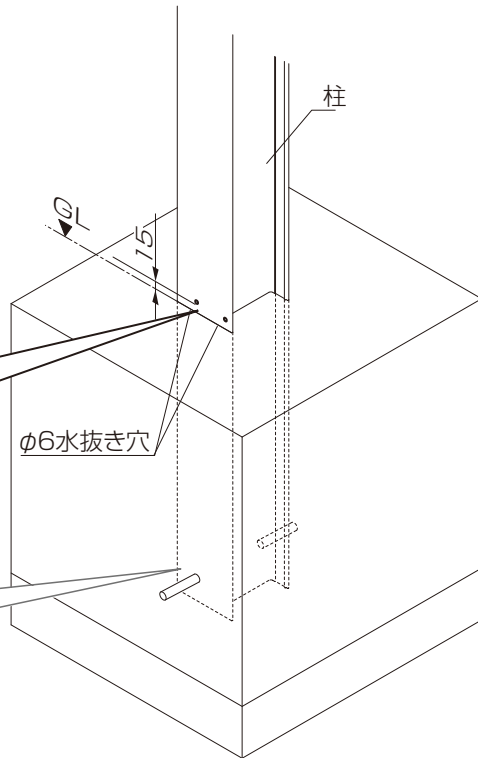
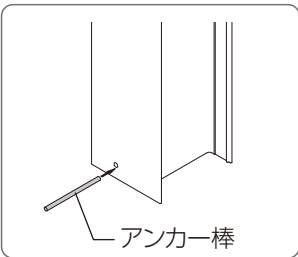


- ①アンカー棒を柱に差込んでください。
- ②φ6の水抜き穴を柱のGL付近(地上側)にあけてください。

注意

水抜き穴をあけないと、柱が破損する原因になります。

P.5
 チェックポイント②

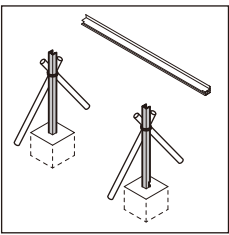


注意

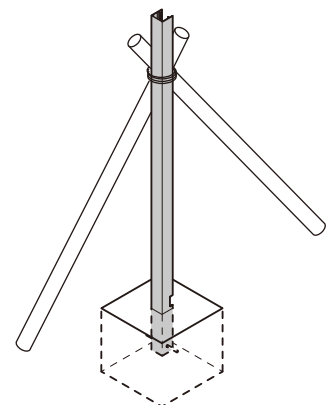
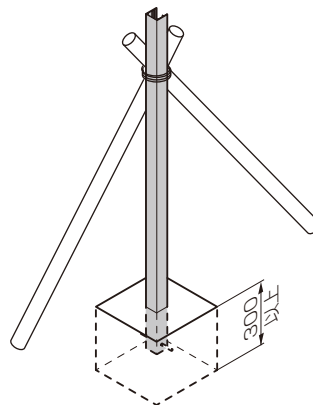
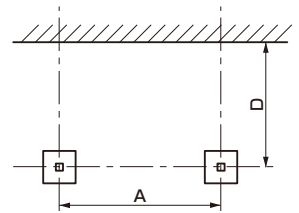
●柱 ●柱(排水用)

φ6水抜き穴 (2箇所) φ6水抜き穴 (1箇所)

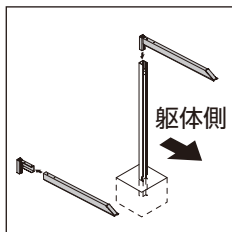
柱の位置決め



- ・柱埋込み位置を出し、基礎穴を掘ります。
- 参考) 柱埋込み位置：寸法図 (P.12)
- 基礎サイズ表：基礎寸法図 (P.14)
- ・柱が倒れないように仮固定してください。



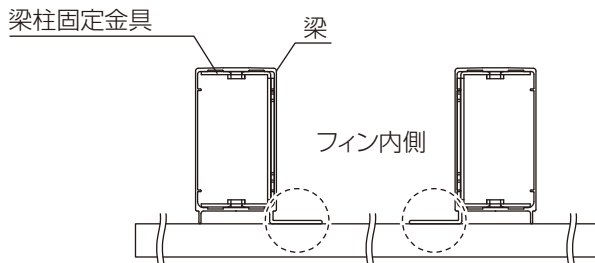
4 梁柱固定金具と梁の取付け



- ①梁を梁柱固定金具に差込み【9-2】で仮固定してください。
- ②梁柱固定金具を柱に差込み【9-2】で仮固定してください。

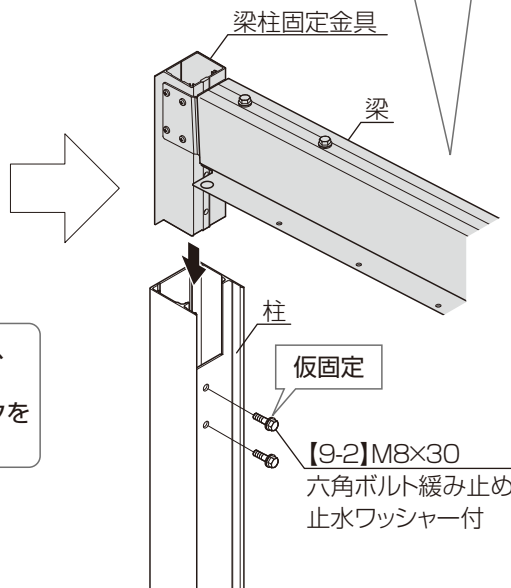
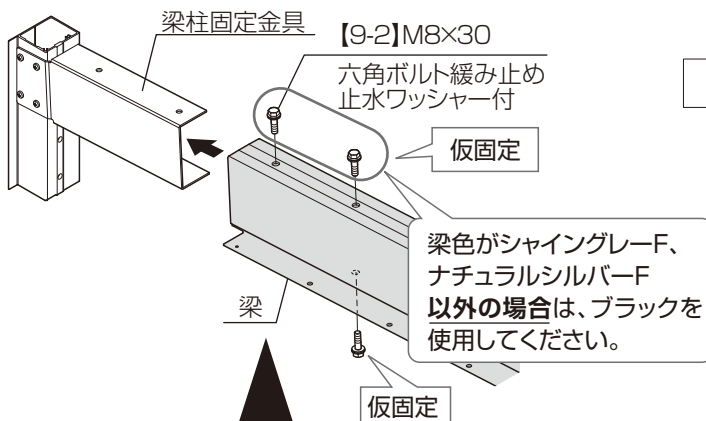
お願い

梁には向きがあります。
梁のフィンが内側になるように取付けてください。



お願い

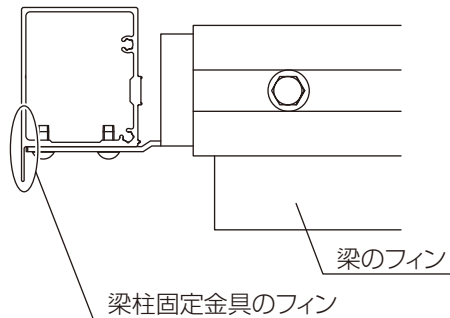
緩み止め剤硬化後にボルトを「緩めたり、締めたり」しないでください。緩みやすくなる場合があります。
(締め付け後、約24時間で硬化します。)



注意

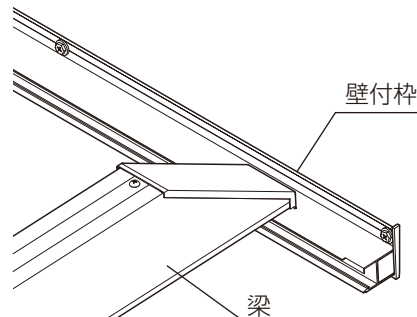
梁柱固定金具には向きがあります
梁柱固定金具のフィンと梁のフィンの向きが同じになるように取付けてください。
向きを間違えた場合、既定の強度を満たすことができなくなります。

上側から見る



お願い

梁を取付ける際、梁の先端で壁・壁付枠にキズを付けないように注意してください。



補足

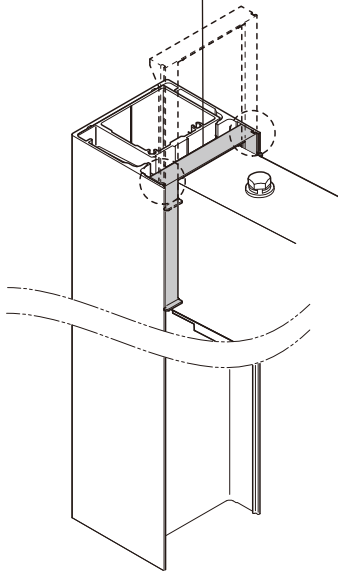


P.25 仮固定したボルトは 6 屋根材の取付けで本固定します。

③柱すき間ふさぎ部品を取付けてください。

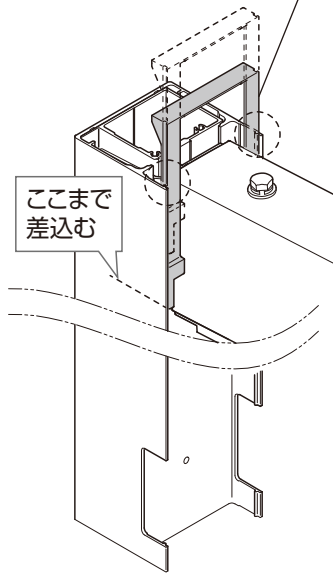
●柱

柱すき間ふさぎ部品



●柱(排水側)

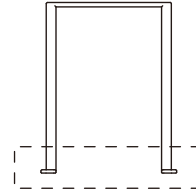
柱すき間ふさぎ部品(排水)



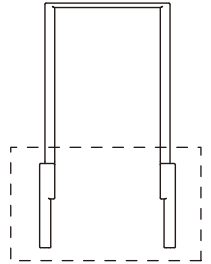
補 足

柱すき間ふさぎ部品には種類があります。点線部分の形状で判断できます。

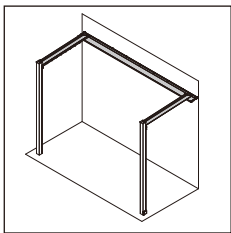
●柱



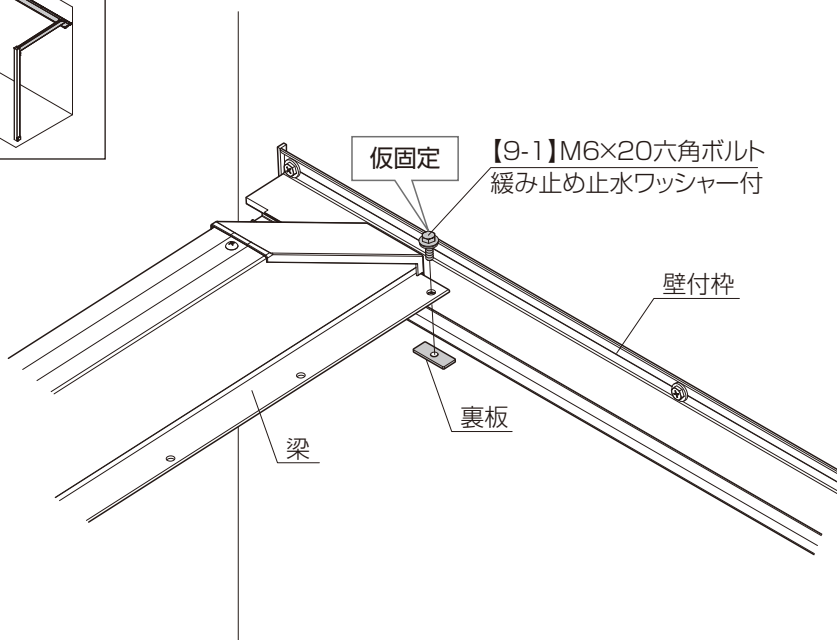
●柱(排水用)



5 壁付枠と梁の仮固定

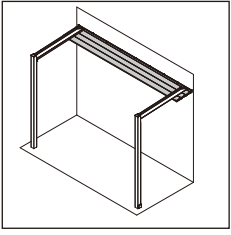


①梁を壁付枠に【9-1】で仮固定してください。



6 屋根材の取付け

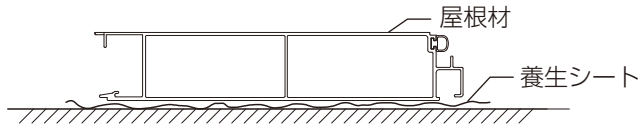
1 1～2枚目の取付け



①屋根材(1枚)を壁付枠に引っ掛け、裏板と【9-1】で仮固定してください。

お願い

[屋根材を仮置きする場合]
下面が意匠面となるため、養生シートの上に置いてください。



お願い

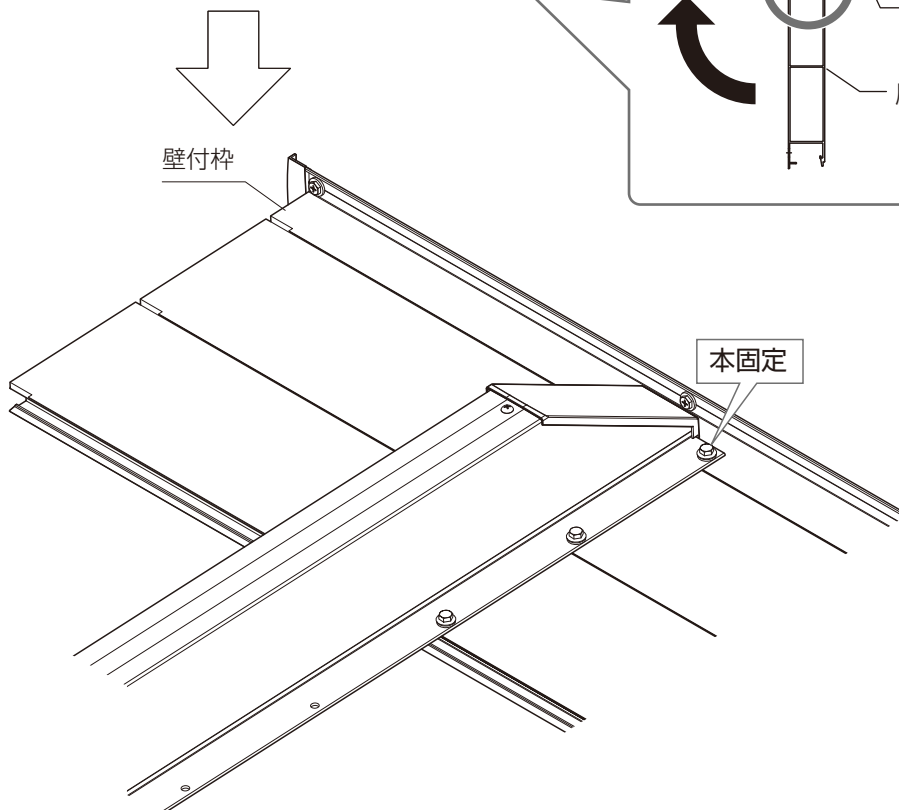
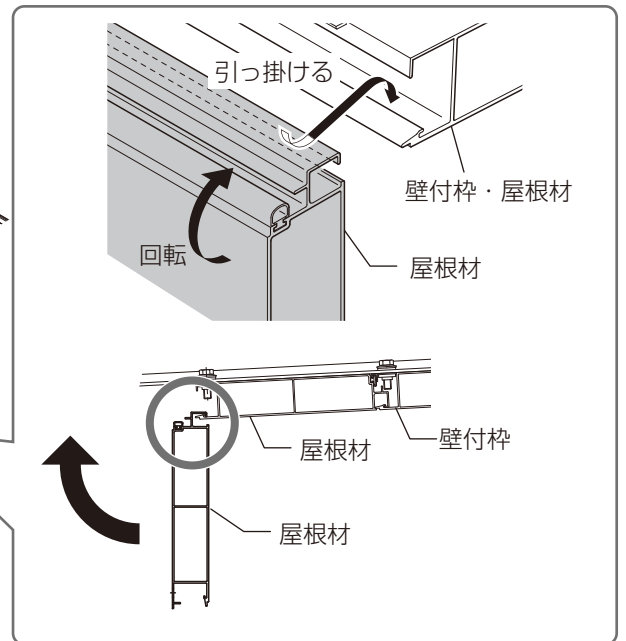
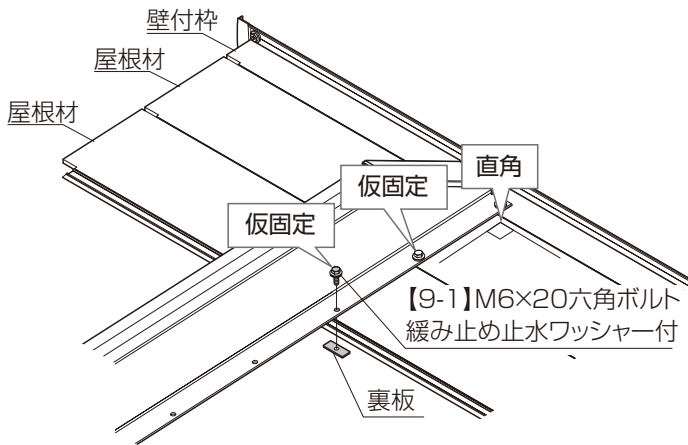
梱包の向きを確認してください。



チェックポイント①

②屋根材同士を引っ掛け裏板と【9-1】で屋根材2枚目を仮固定してください。

③直角を確認し、壁付枠を本固定してください。

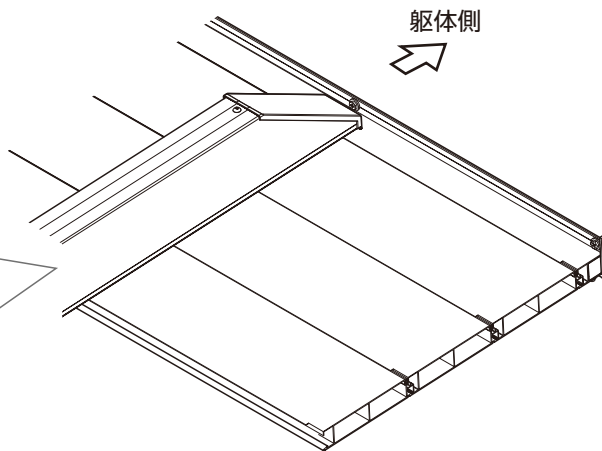
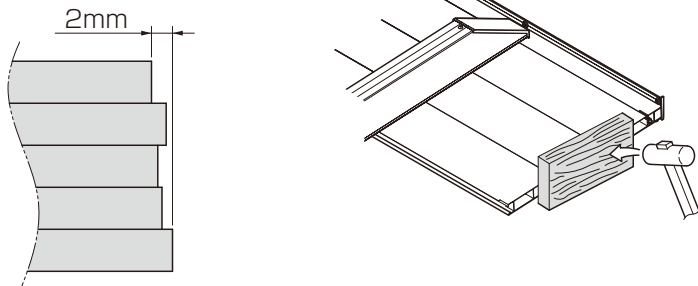


2 3枚目以降の取付け

- ① 1～2枚目と同様に3枚目を【9-1】で仮固定してください。
- ② 屋根材端部がそろっていることを確認して、1枚目の屋根材を本固定してください。
- ③ 4枚目以降の屋根材も同様に取付けてください。

お願い

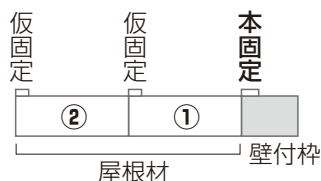
- ・ 屋根材端部は全体で±1mm（見目で気にならないよう）にそろえてください。
 - ・ 端部をそろえるときはあて木をし、ハンマーでたたいてください。端部をそろえると直角になります。
- 屋根材の端部を揃えないと、側枠が取り付けられないことがあります。



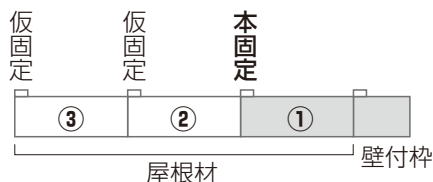
補足

屋根材を何枚か取付けると、穴位置がズレることがあります。ドライバー等で穴をこじると施工しやすいです。

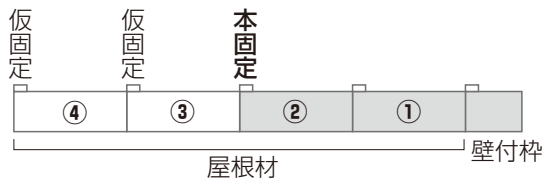
手順1



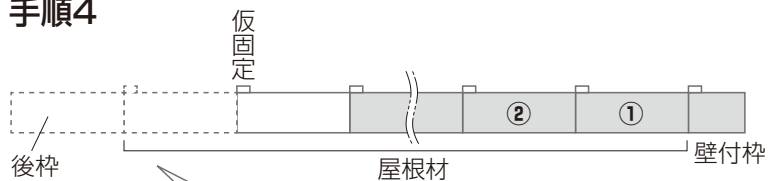
手順2



手順3



手順4

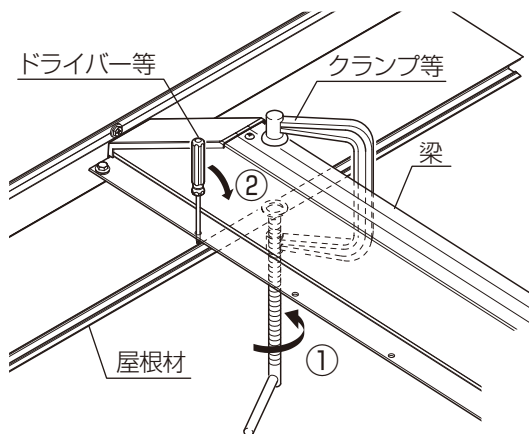


補足

最後の屋根材を取付ける前に梁柱固定金具を本固定します。屋根材1枚分と後枠のスペースを空けておいてください。

補足

●屋根材の保持が難しい場合



- ① 取付ける屋根材と梁をクランプ等で挟み、取付ける屋根材の穴にドライバー等を差し込んでください。
- ② クランプを締めながらドライバーを手前に引いてください。

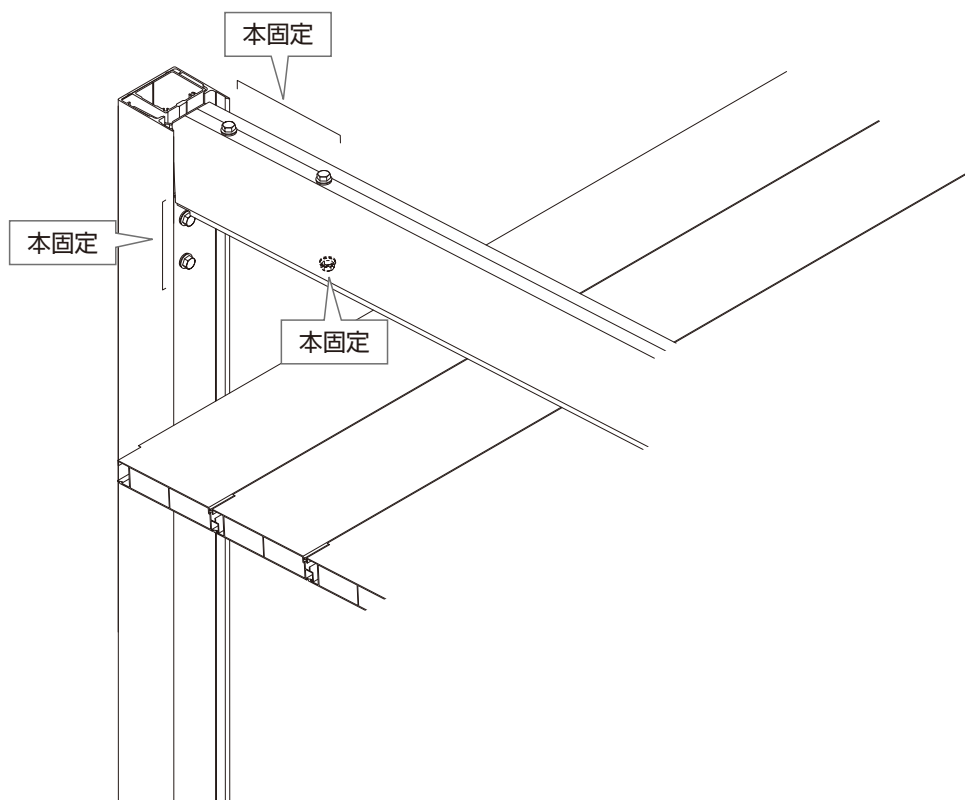
お願い

- ・ クランプで挟む際に屋根材を締め付け過ぎないように注意してください。屋根材が変形することがあります。
- ・ クランプで挟む際に屋根材に傷がつかないように注意してください。

3 最後の屋根材の取付け

①梁・柱と梁柱固定金具に取付けたボルトを本固定してください。

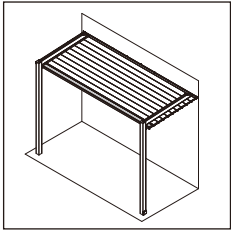
②最後の屋根材を②と同様に【9-1】で仮固定してください。



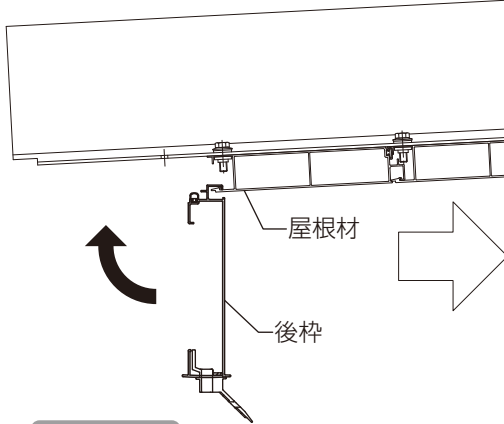
※本図は内観左を示す

7 後枠の取付け

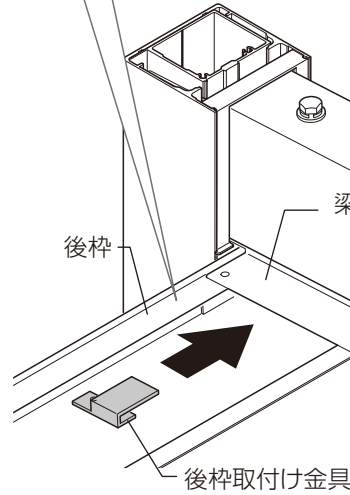
1 後枠の取付け



- ①後枠を屋根材に引っ掛けてください。
- ②梁フィン部と後枠を後枠取付け金具で挟み、【9-3】で取付けてください。

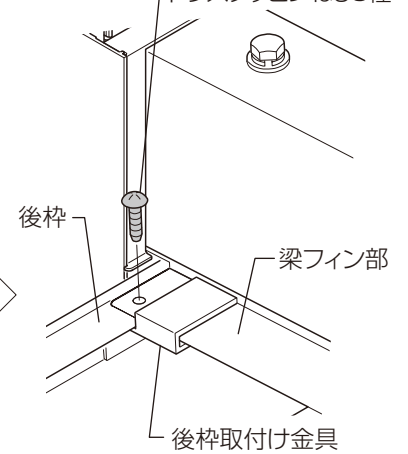


梁フィン部と後枠を挟み込む。



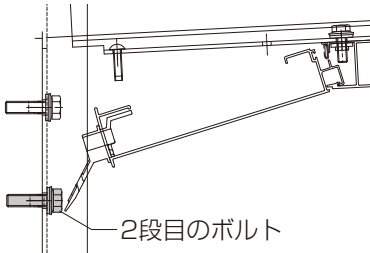
【9-3】φ5×20

トラスタッピンねじ3種



補足

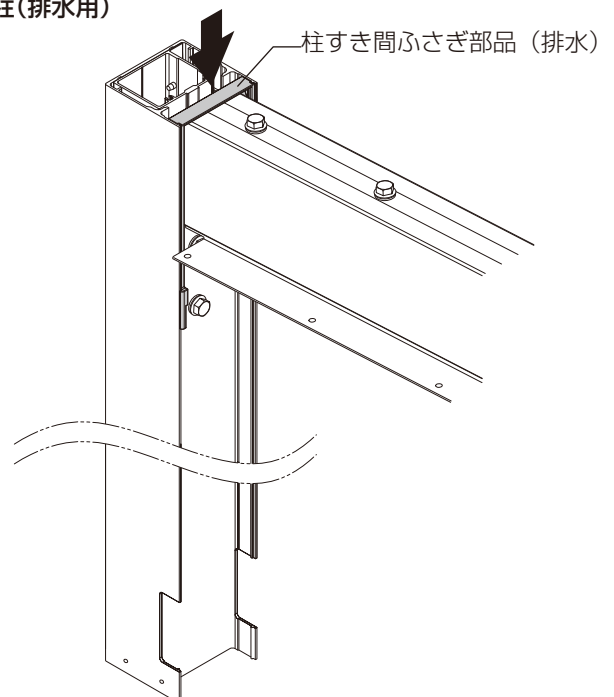
2段目のボルトに干渉する場合がありますが、そのまま取付けてください。



2 柱すき間ふさぎ部品の取付け

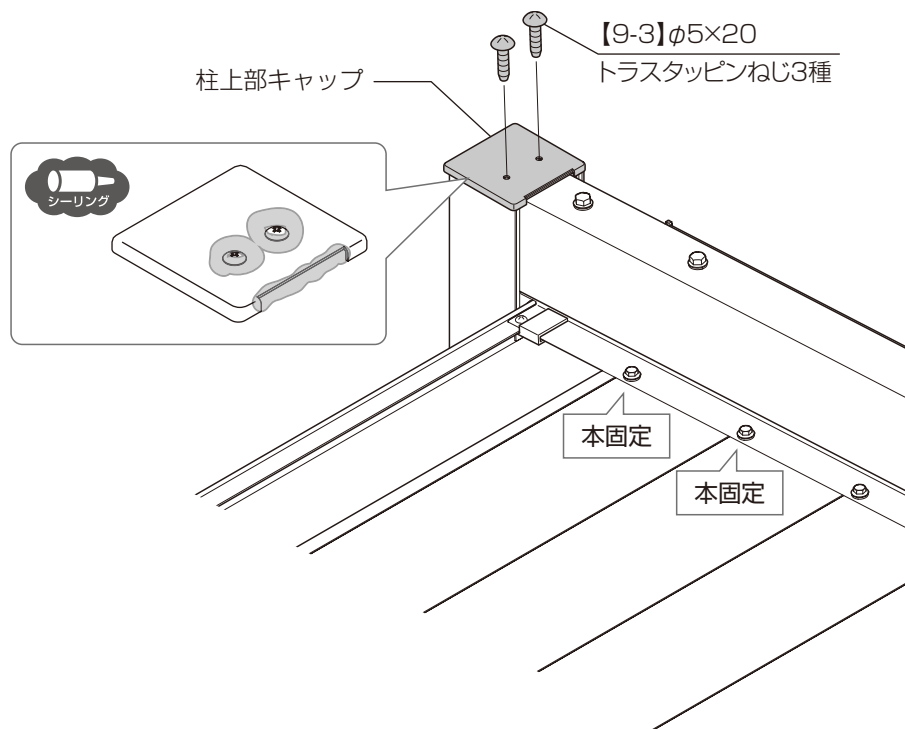
- ①柱すき間ふさぎ部品(排水)を奥まで差し込んでください。

●柱(排水用)



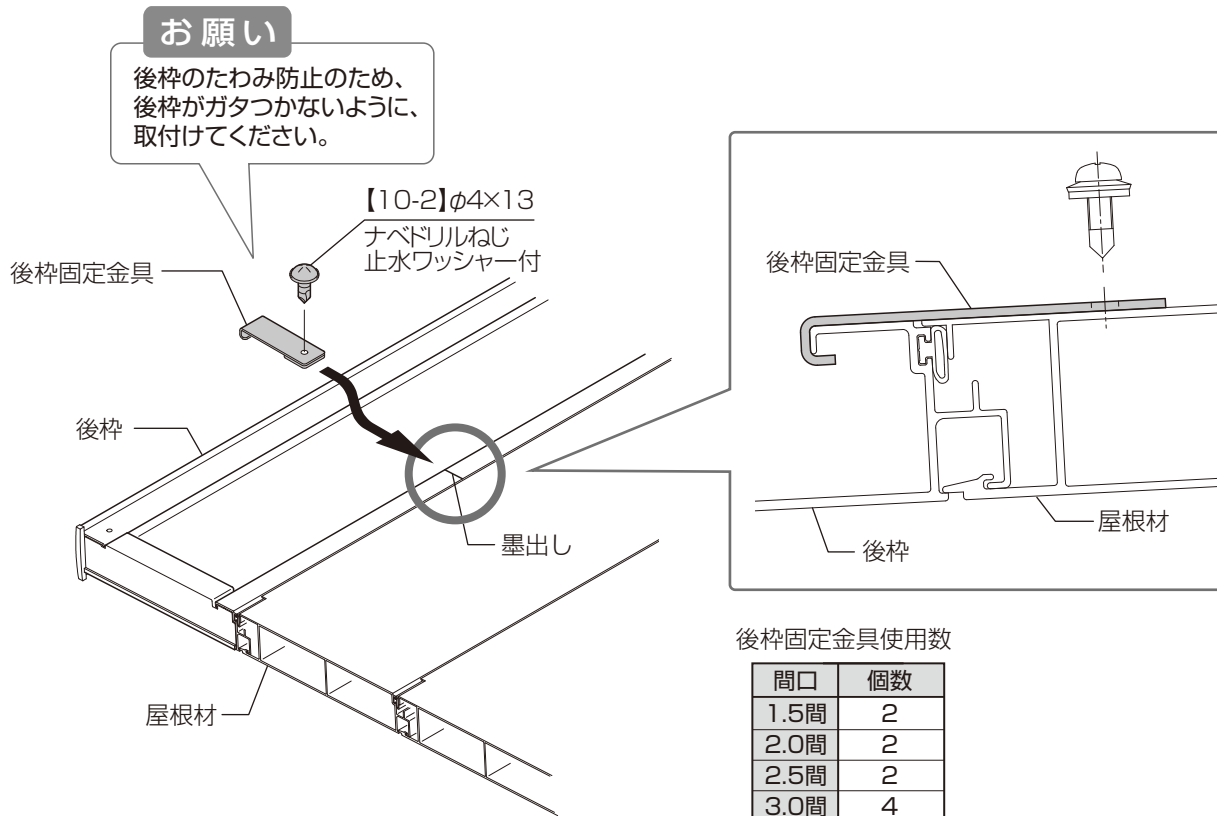
3 柱上部キャップの取付け

- ① **6**③までに仮固定したボルトを本固定してください。
- ② 柱上部キャップを【9-3】で取付け、シーリングしてください。

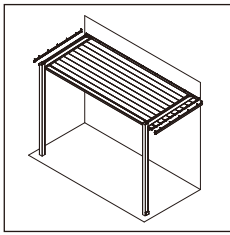


4 後枠固定金具の取付け

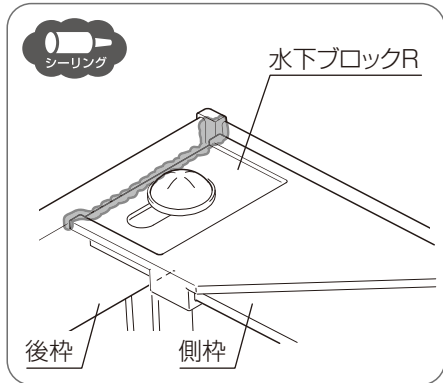
- ① 後枠固定金具を **1**② (P.15) でつけた枠の墨出し位置に【10-2】で取付けてください。



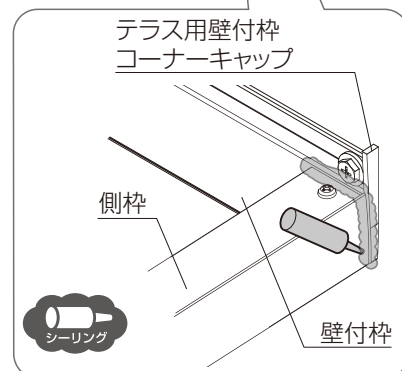
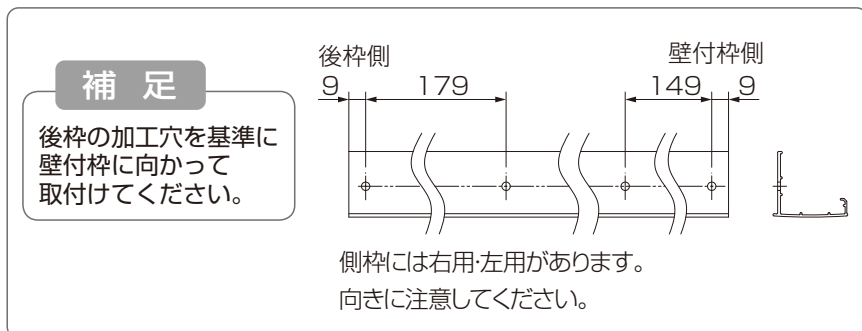
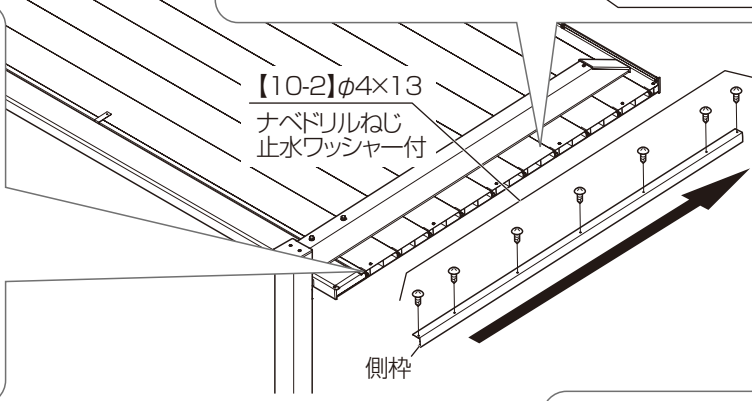
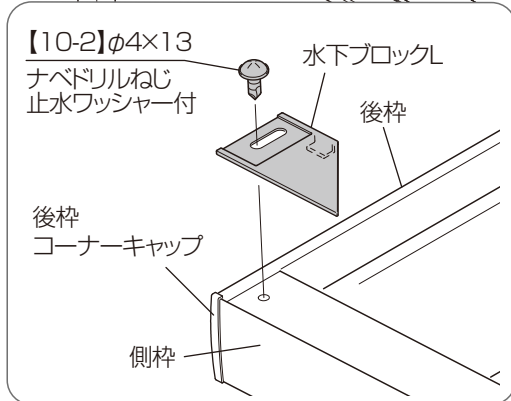
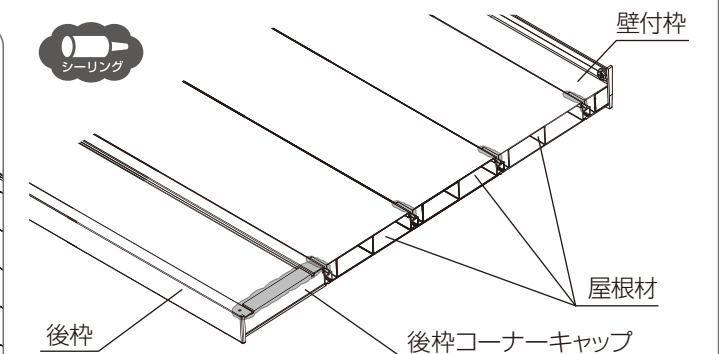
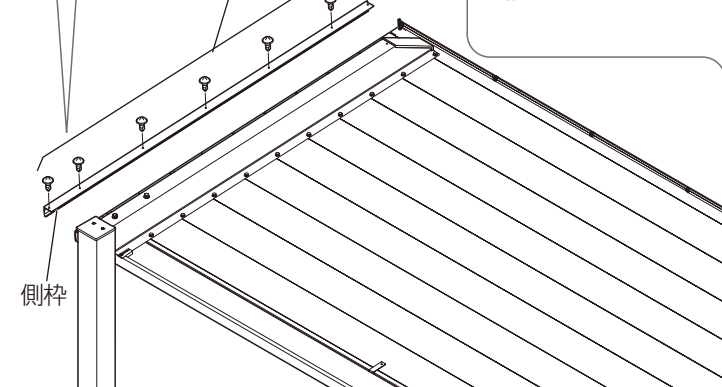
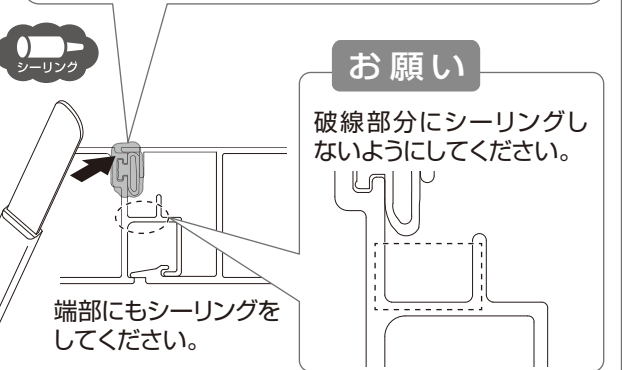
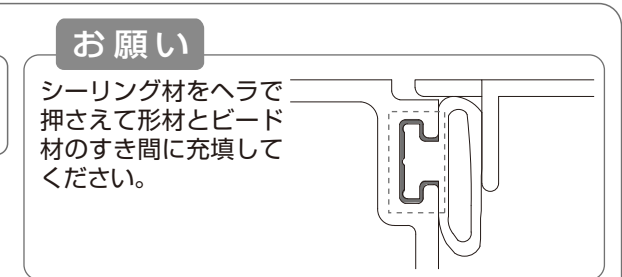
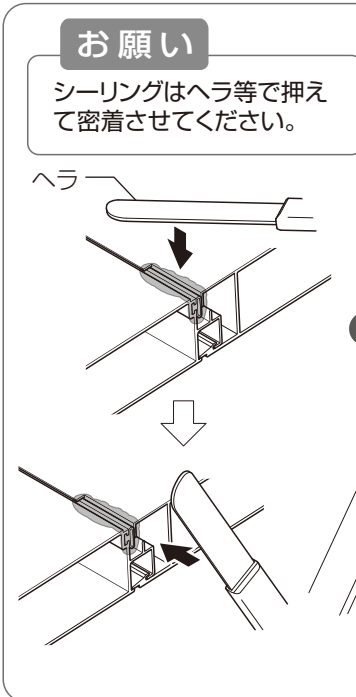
8 側枠の取付け



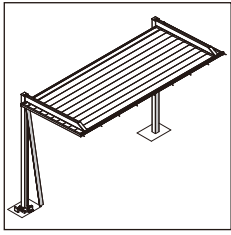
- ①壁付枠・屋根材の切欠き部・端部と後枠コーナーキャップ上部にシーリングしてください。
- ②水下ブロックと一緒に側枠を【10-2】で後枠側から取付けてください。
- ③テラス用壁付枠コーナーキャップと側枠の隙間にシーリングしてください。
- ④後枠と側枠の隙間にシーリングしてください。



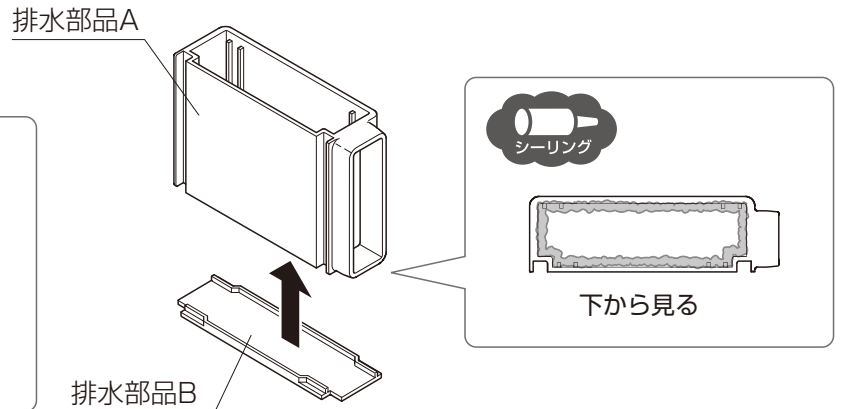
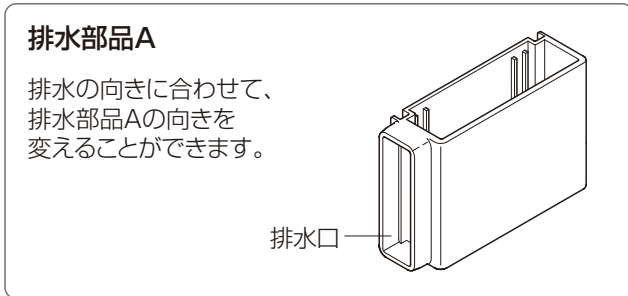
【10-2】φ4×13
ナベドリルねじ
止水ワッシャー付



9 柱カバー・排水部品の取付け

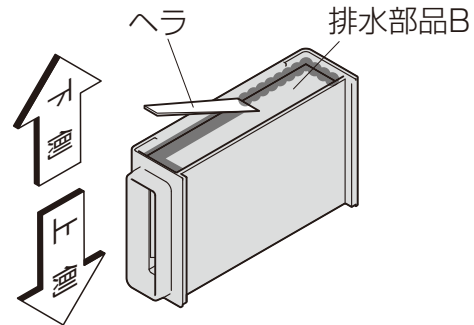


- ①排水部品Bを排水部品Aの下部にはめ込んでください。
- ②排水部品Aと排水部品Bの接合部にシーリングしてください。

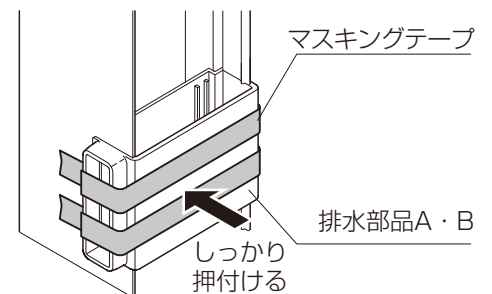
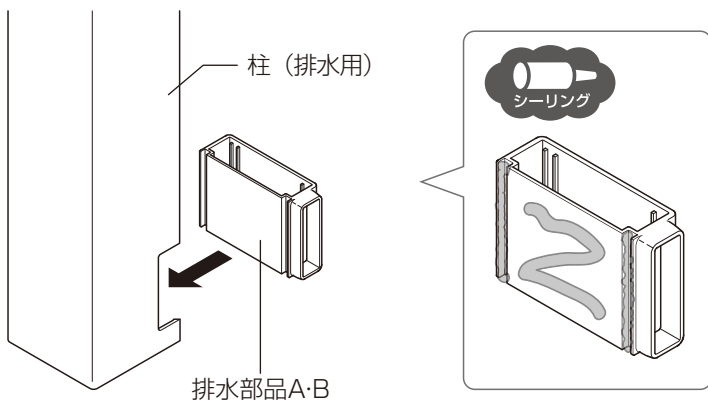


お願い

排水部品Bはシーリング材で固定します。シーリングした後、ヘラなどでシーリング材を隙間なくのばしてください。シーリング材がしっかり乾いてから取付けてください。



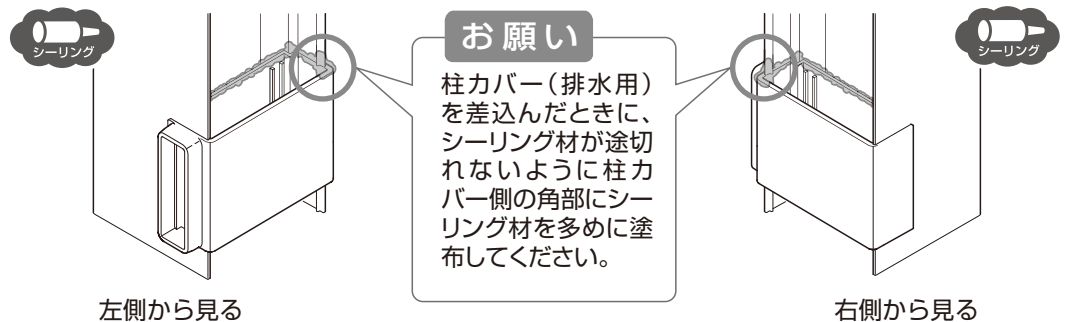
- ③排水部品の背面にシーリングし、柱に貼付けてください。
- ④排水部品をマスキングテープで固定してください。



お願い

排水部品を接着させるため、シーリング材は十分に塗布してください。シーリング材がしっかり乾いてからマスキングテープをはがしてください。

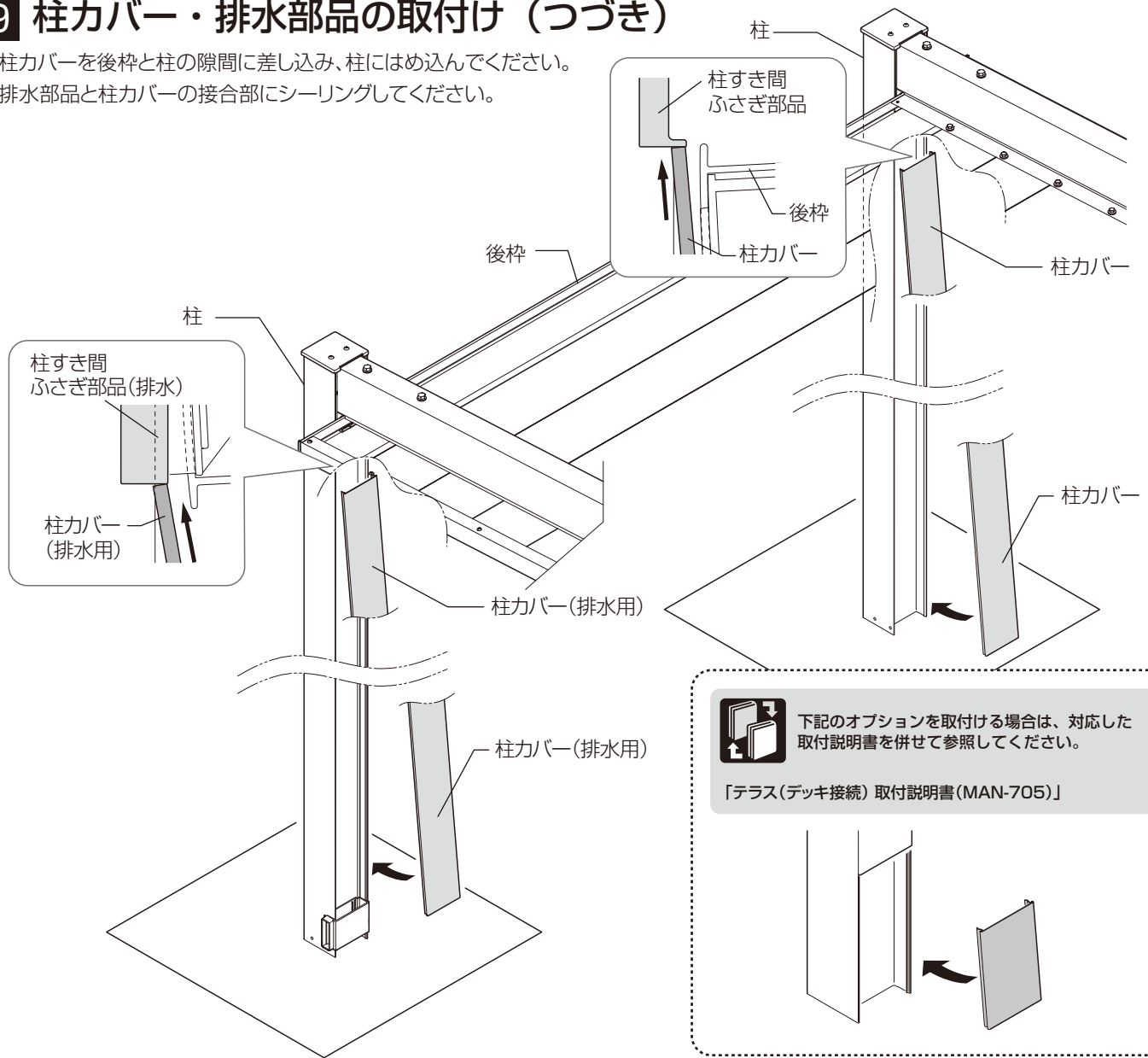
- ⑤排水部品内側にシーリングしてください。



9 柱カバー・排水部品の取付け (つづき)

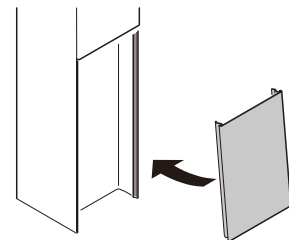
⑥ 柱カバーを後枠と柱の隙間に差し込み、柱にはめ込んでください。

⑦ 排水部品と柱カバーの接合部にシーリングしてください。



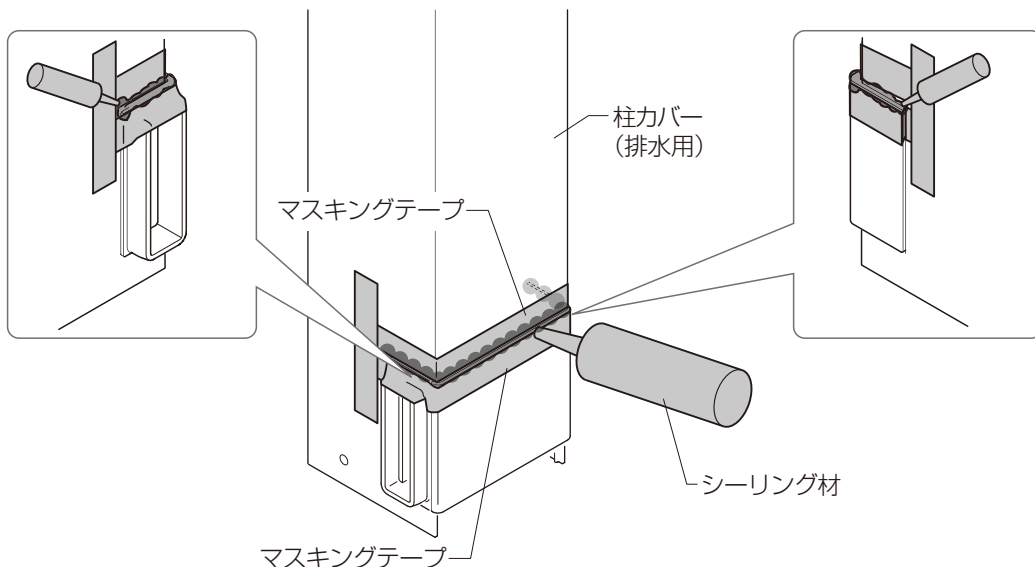
下記のオプションを取付ける場合は、対応した取付説明書を併せて参照してください。

「テラス(デッキ接続) 取付説明書(MAN-705)」

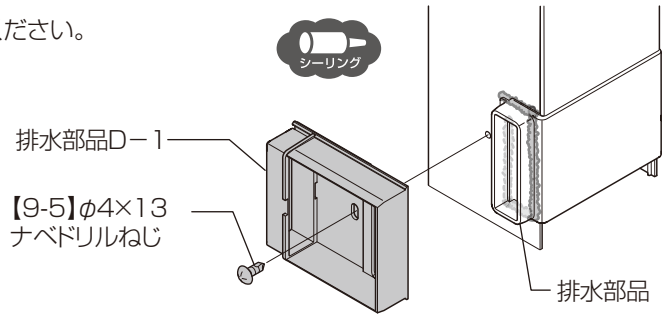


補 足

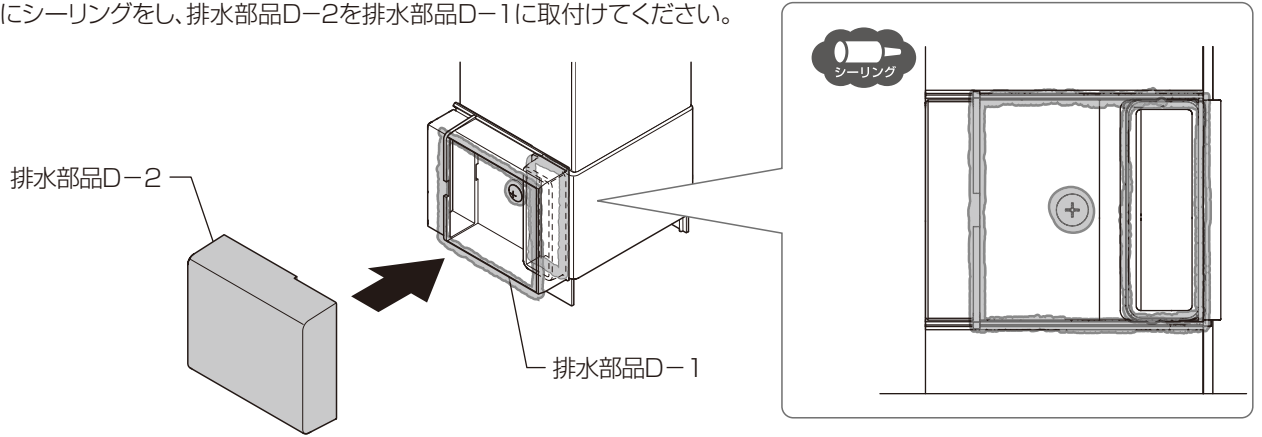
排水部品が柱にしっかり固定されていて、シーリング材が乾いていることを確認してください。
柱(排水用)や柱カバー(排水用)にシーリング材がつかないようにマスキングテープで保護してください。



⑧排水部品にシーリングをして、排水部品D-1を【9-5】で取付けてください。



⑨排水部品D-1にシーリングをし、排水部品D-2を排水部品D-1に取付けてください。



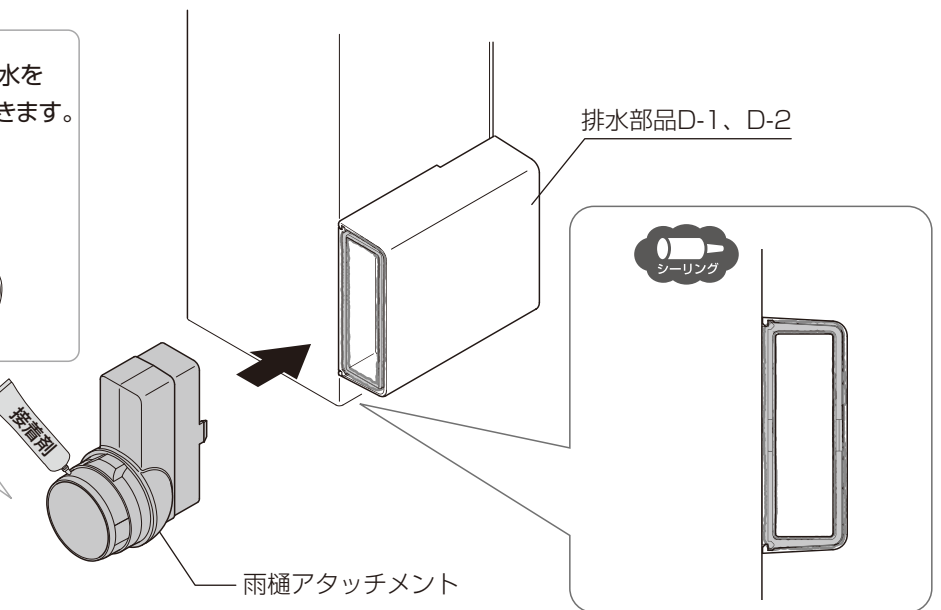
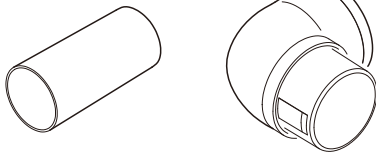
雨樋アタッチメントの取付け OP

①排水部品D-1、D-2の排水口にシーリングし、雨樋アタッチメントを取付けてください。

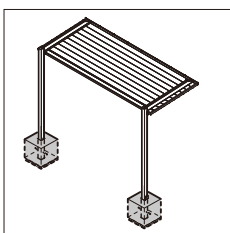
補足

丸樋もしくは92°エルボを接続させて排水を延長したり排水の向きを変えることができます。

丸樋 (φ40) 92° エルボ

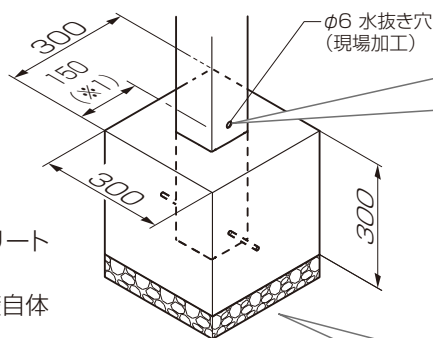


10 柱(基礎)



●図の寸法で、柱埋込み穴をコンクリートで埋めてください。

※基礎に水がたまりやすい場合は、基礎自体に水こう配をつけてください。



補足

必ず排水柱1箇所、非排水柱2箇所、水抜き穴加工をしてください。

補足

(※1) は柱芯から基礎端面までの寸法です。

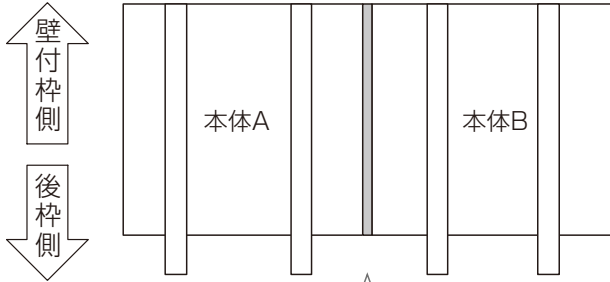
連棟タイプの施工



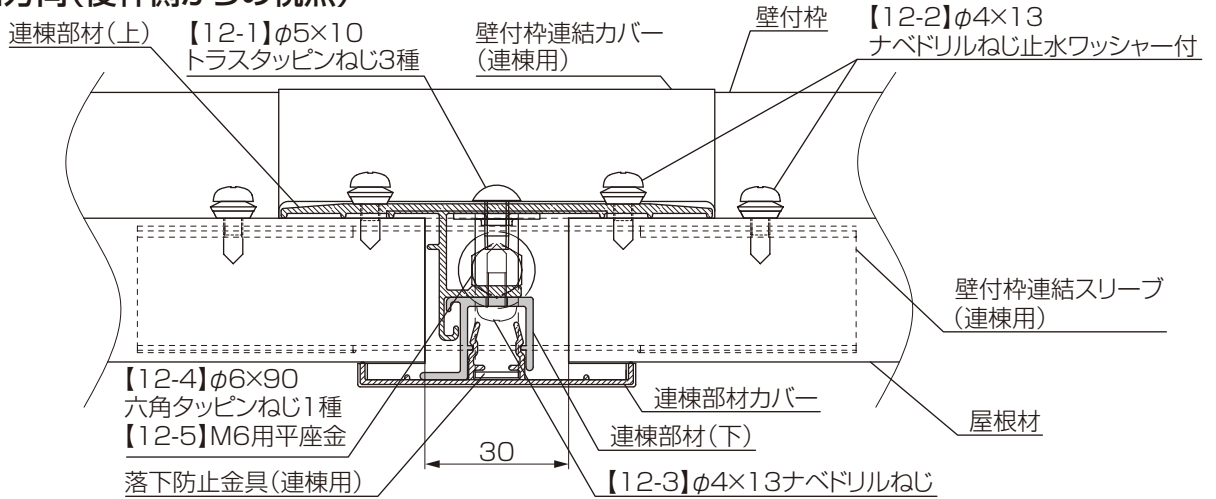
柱移動の場合の作業です。



【連棟】の場合の作業です。



●連棟 間口方向(後枠側からの視点)



□ 施工の流れ

事前準備	1 事前準備	2 壁付枠の取付け	柱の位置決め
<p>P.15 基本タイプ P.15を事前に確認してください。</p>	<p>P.38 P.38を参照してください。基本タイプ P.15も事前に確認してください。</p>	<p>P.39 P.39を参照してください。基本タイプ P.20も事前に確認してください。</p>	<p>P.21 基本タイプ P.21を事前に確認してください。</p>
<p>梁柱固定金具と梁の取付け</p> <p>P.23 基本タイプ P.23を事前に確認してください。</p>	<p>壁付枠と梁の仮固定</p> <p>P.24 基本タイプ P.24を事前に確認してください。</p>	<p>3 屋根部(1台目)の取付け</p> <p>P.40 P.40を参照してください。基本タイプ P.25~も事前に確認してください。</p>	<p>4 連棟部材(上)の取付け</p> <p>P.41を参照してください。</p>
<p>5 屋根部(2台目)の取付け</p> <p>P.42 P.42を参照してください。基本タイプ P.25~も事前に確認してください。</p>	<p>6 連棟部材の取付け</p> <p>P.43を参照してください。</p>		

■ 連棟の確認事項


□ 姿図

⚠ 注意

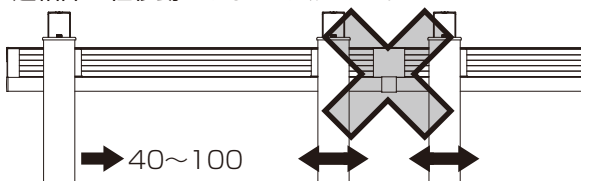
【柱移動】をする場合

柱芯々寸法は内側100mm以内で柱移動してください。
 ただし、柱内側40mmの範囲は移動できません。
 ※他の部材と干渉するため、取付け不可となります。
 ※連結部の柱移動はしないでください。

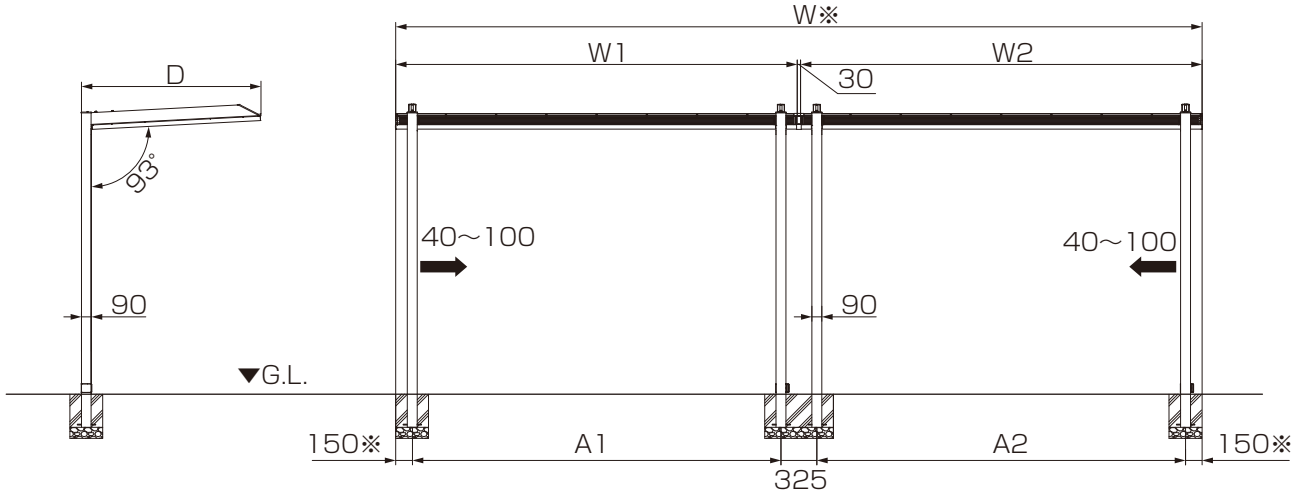
OP
初め



柱移動
柱移動の場合の
作業です。



■ 1.5間、2.0間

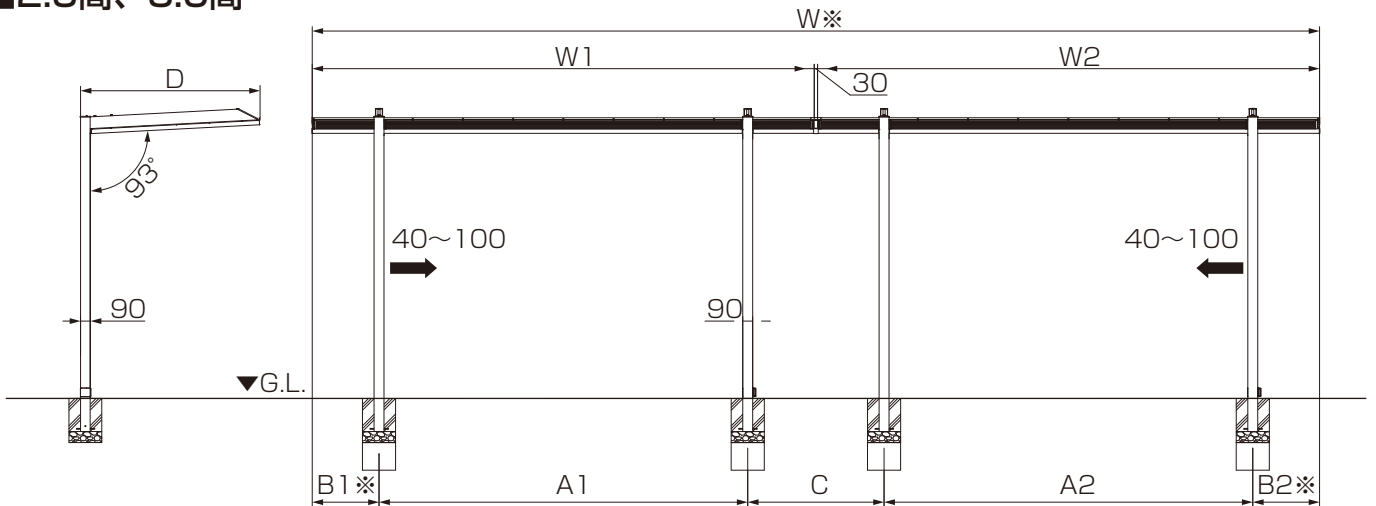


出幅	D
4尺	1032
5尺	1329
6尺	1627
7尺	1924
9尺	2520

※照明用側枠を使用する場合、片側のみ使用は+14.5mm、
両側使用は+29mmしてください。

		A1	A2	W1	W2	W
間口	1.5間+1.5間	2430	2430	2727.5	2727.5	5485
	1.5間+2.0間	2430	3340	2727.5	3637.5	6395
	2.0間+2.0間	3340	3340	3637.5	3637.5	7305

■ 2.5間、3.0間

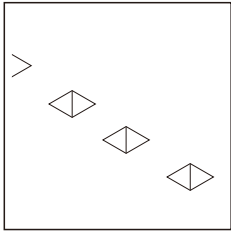


※照明用側枠を使用する場合、片側のみ使用は+14.5mm、
両側使用は+29mmしてください。

出幅	D
4尺	1032
5尺	1329
6尺	1627
7尺	1924
9尺	2520

		A1	A2	W1	W2	W	B1	B2	C
間口	1.5間+2.5間	2430	3340	2727.5	4547.5	7305	150	605	780
	1.5間+3.0間	2430	3340	2727.5	5457.5	8215	150	1060	1235
	2.0間+2.5間	3340	3340	3637.5	4547.5	8215	150	605	780
	2.0間+3.0間	3340	3340	3637.5	5457.5	9125	150	1060	1235
	2.5間+2.5間	3340	3340	4547.5	4547.5	9125	605	605	1235
	2.5間+3.0間	3340	3340	4547.5	5457.5	10035	605	1060	1690
	3.0間+3.0間	3340	3340	5457.5	5457.5	10945	1060	1060	2145

□ 基礎の墨出し



【通常基礎の基礎寸法数値について】
通常基礎の基礎寸法は『P.14』を参照してください。



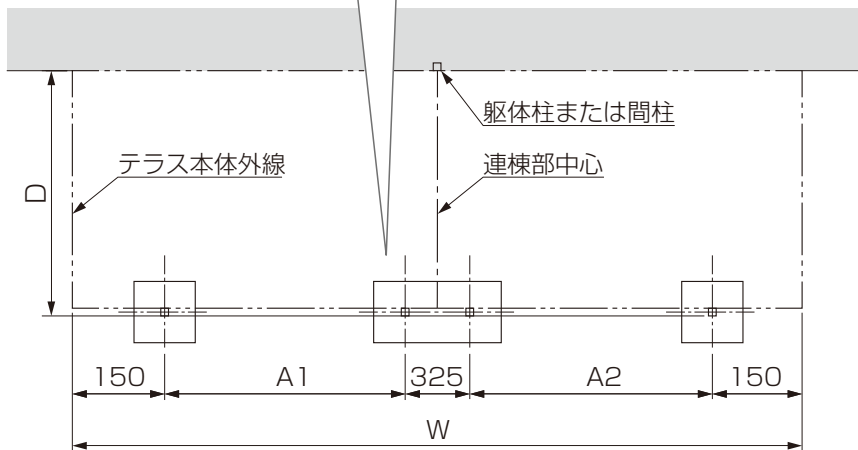
下記のオプションを取付ける場合は、対応した取付説明書を併せて参照してください。

「テラスSC 屋根照明(独立タイプ 壁付タイプ テラスタイプ) 取付説明書(MAN-702)」

■ 1.5間、2.0間

お願い

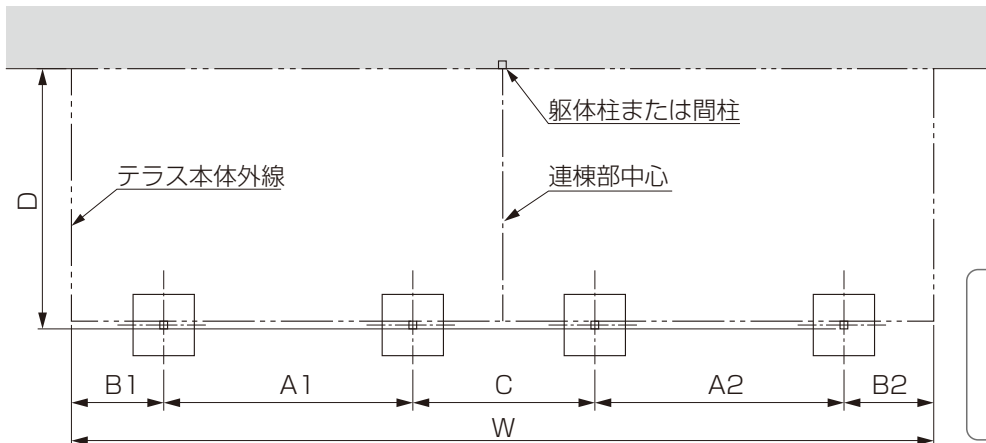
連結部の基礎寸法は、次ページを参照ください。



お願い

躯体柱または間柱に連棟部中心を合わせるよう位置決めしてください。中心に躯体柱がない場合、連棟部の取付けができなくなります。

■ 2.5間、3.0間



A1・A2・B1・B2・C・D寸法は、P.35を参照してください。

お願い

躯体柱に連棟部中心を合わせるよう位置決めしてください。中心に躯体柱がない場合、連棟部の取付けができなくなります。

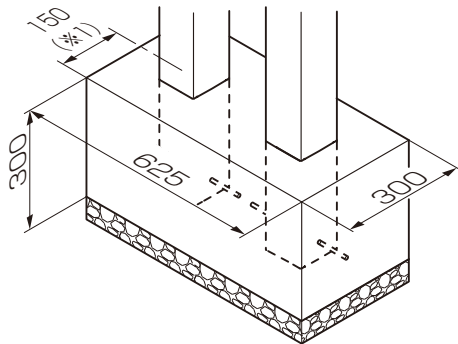
■基礎寸法の確認（連結部）



【独立基礎仕上げ】の場合の作業です。



【通常基礎の基礎寸法数値について】
通常基礎の基礎寸法は『P.14』を
参照してください。



補 足

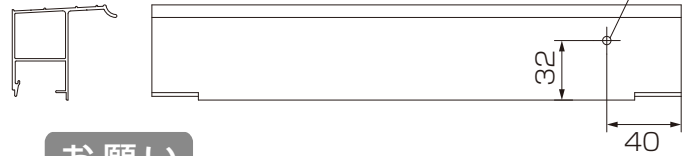
(※1) は柱芯から基礎端面までの寸法です。

1 事前準備

1 壁付枠の加工

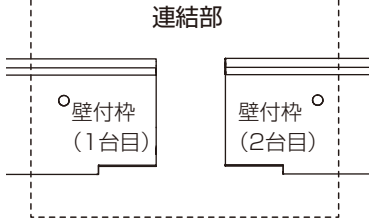
①壁付枠の連棟部側にφ4.5の穴加工をしてください。

連結部側
φ4.5



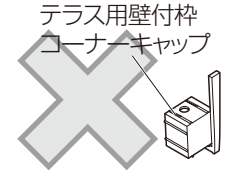
お願い

1台目と2台目では
穴が対称に
なりますので
ご注意ください。

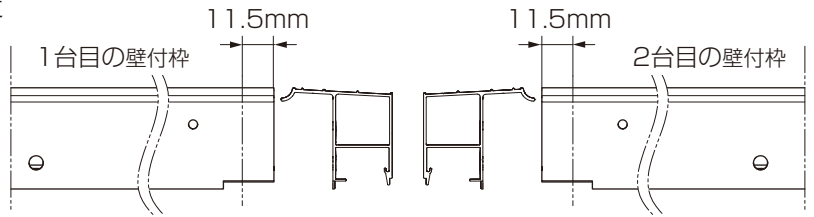


お願い

テラス用壁付枠
コーナーキャップは、
連結部には取付けないでください。

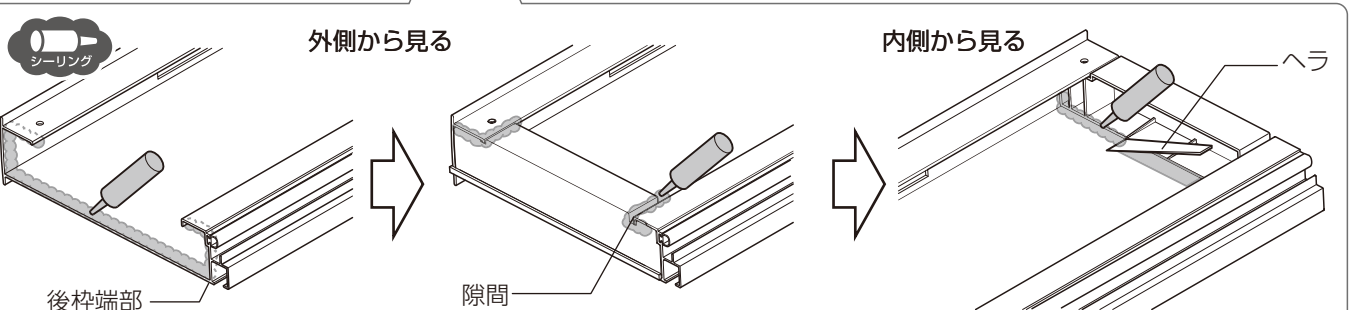
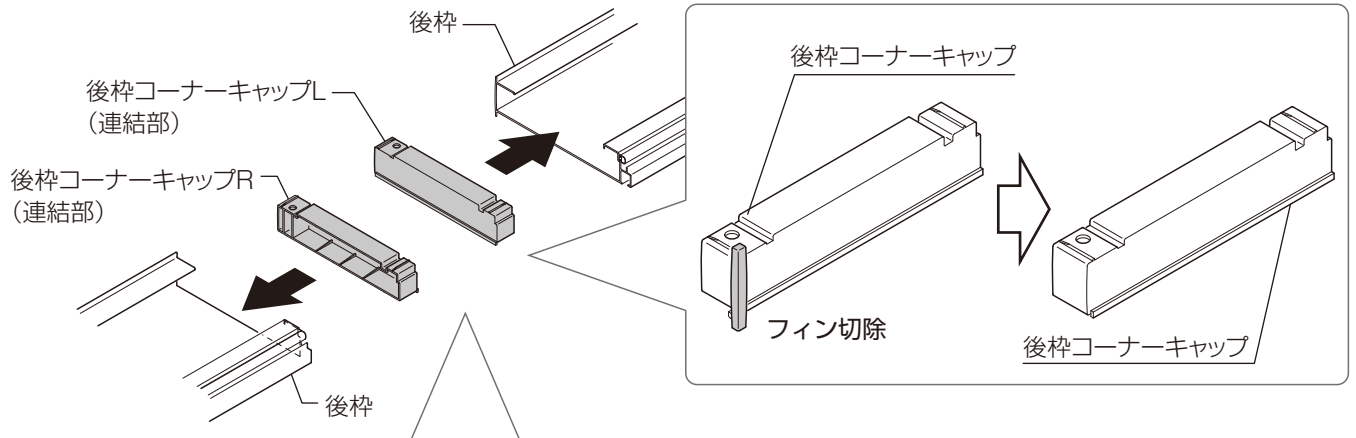


②連棟部材を取付ける側の端部から11.5mmの位置に
ケガキを入れてください。



2 後枠への部品の取付け

- ①連結部に取付ける後枠コーナーキャップL、Rのフィンを切除してください。
- ②後枠連結部にシーリング材を塗布してください。
- ③後枠コーナーキャップを連結部に差し込んでください。
- ④後枠コーナーキャップを取付け後に、外側から隙間にシーリング材を塗布してください。
- ⑤内側からはみ出したシーリング材をヘラでならしてください。



お願い

後枠コーナーキャップを差込んだときに、シーリング材が途切れない
ようにシーリング材を多めに塗布してください。

お願い

内側に溜まったシーリング材を、隙間
なくヘラでならしてください。
シーリング材が溜まっていない場合
は、内側からシーリング材を塗布して
ください。

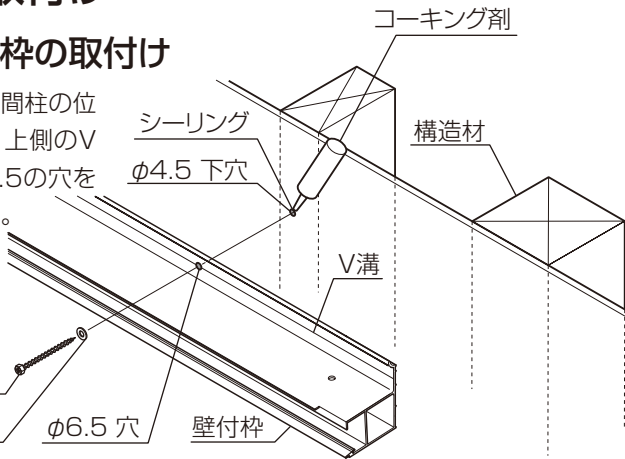
2 壁付枠の取付け

1 1台目の壁付枠の取付け

- 躯体の柱および間柱の位置に合わせて、上側のV溝の位置にφ6.5の穴をあけてください。

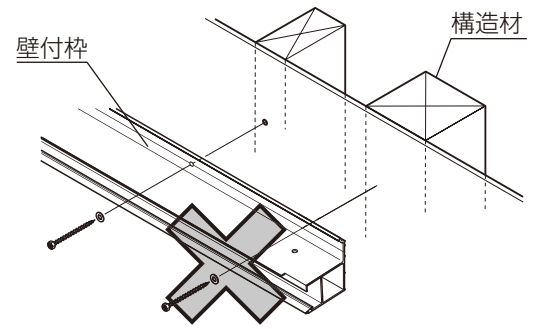
【10-3】φ6×90
六角タッピンねじ1種

【10-4】M6用平座金



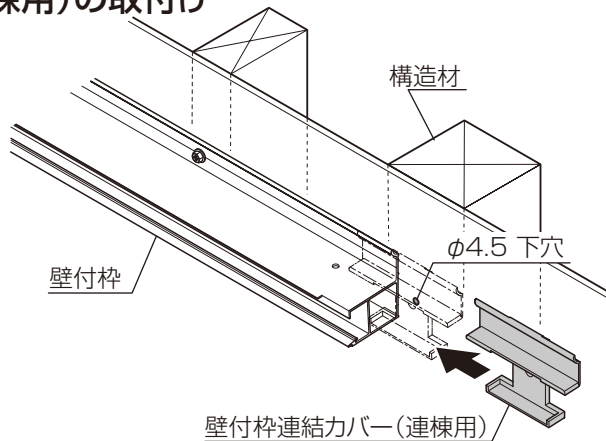
お願い

連棟側の壁付枠端部にねじを取付けしないでください。壁付枠連結スリーブ(連棟用)で躯体に取付けます。



2 壁付枠連結カバー(連棟用)の取付け

- ① 壁付枠連結カバー(連棟用)の背面部分にシーリングを塗布し、壁付枠に押し付けて固定してください。
- ② 壁付枠連結カバー(連棟用)の穴に合わせて、φ4.5の下穴をあけてください。



■ は、シーリング塗布部分



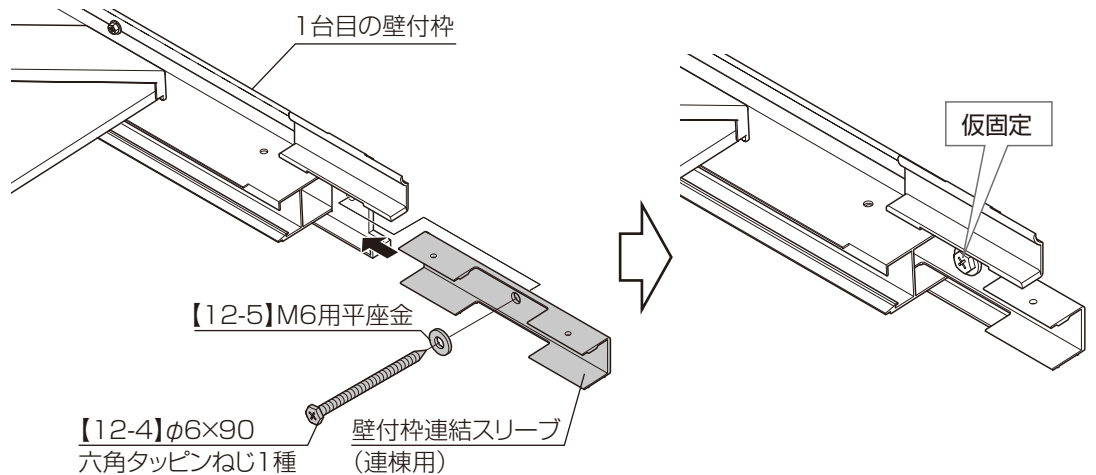
■ シーリング塗布量

3mm

この量を目安に塗布してください。

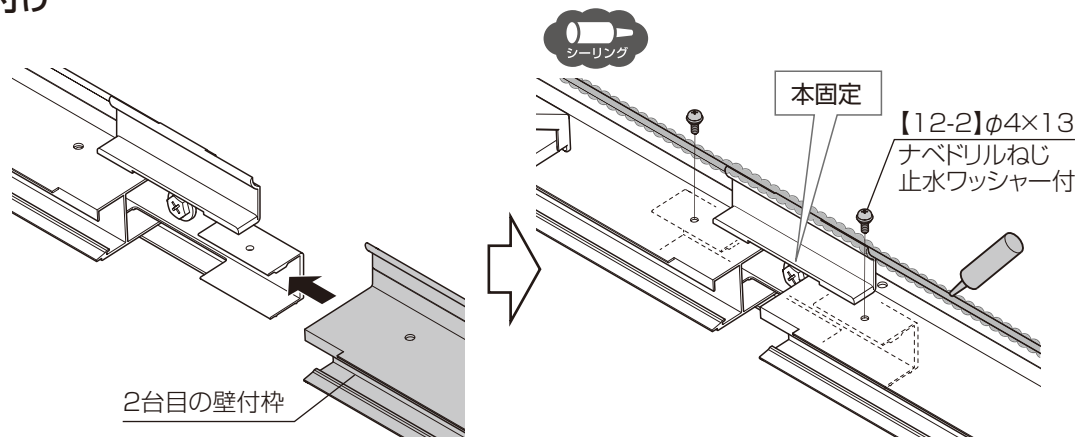
3 壁付枠連結スリーブ(連棟用)の取付け

- ① 壁付枠連結スリーブ(連棟用)を差し込んで、【12-4】と【12-5】で仮固定してください。



4 2台目の壁付枠の取付け

- ① 2台目の壁付枠を取付けてください。
- ② 壁付枠連結スリーブ(連棟用)を本固定してください。
- ③ 壁付枠連結スリーブ(連棟用)を【12-2】で壁付枠と固定してください。
- ④ 壁付枠上部と躯体の隙間にシーリングをしてください。

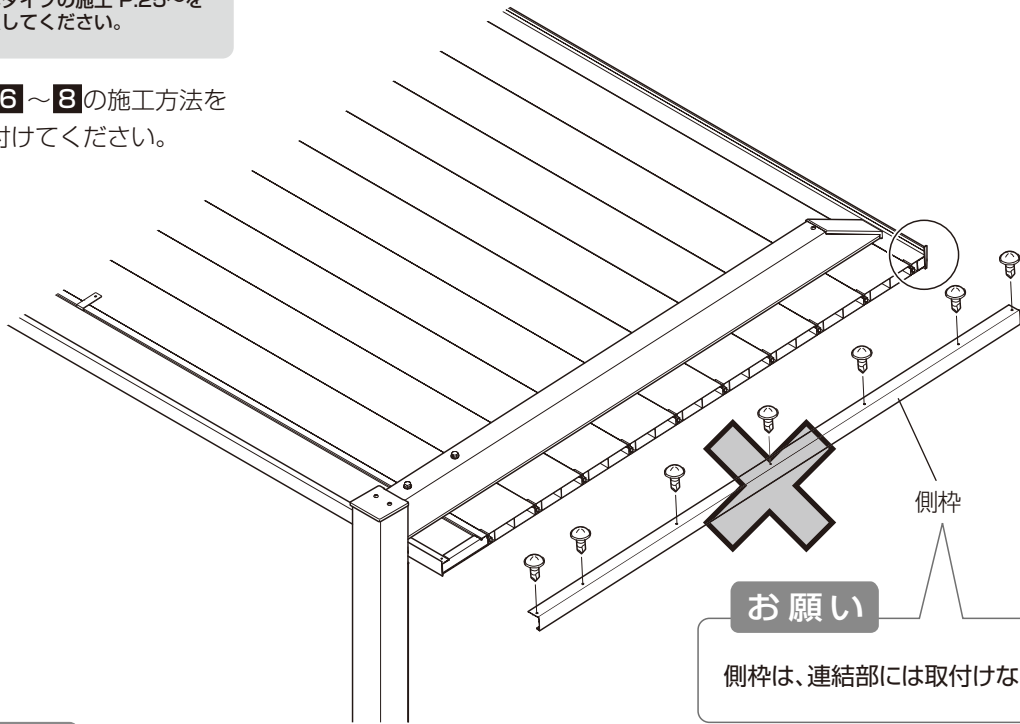


3 屋根部(1台目)の取付け



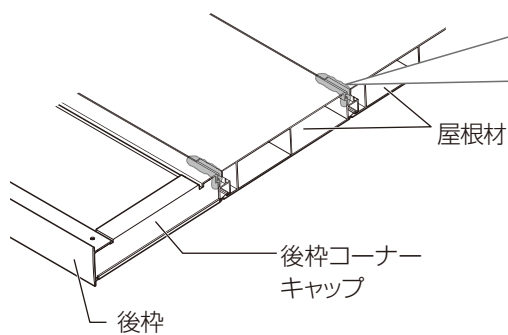
基本タイプの施工 P.25~を参照してください。

①基本タイプ **6** ~ **8** の施工方法を参照して取付けてください。



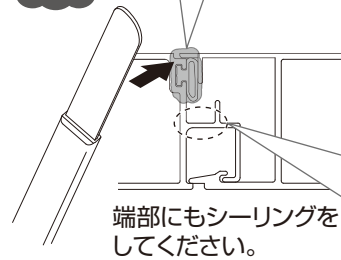
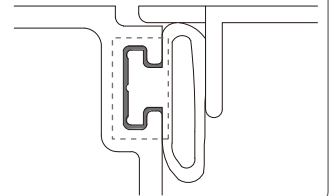
お願い

1台目の壁付枠・後枠・屋根材の切欠き部と端部のシーリングを忘れずにしてください。



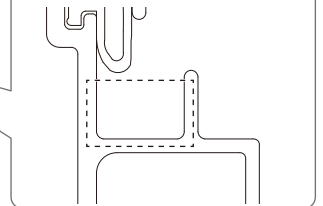
お願い

シーリング材をヘラで押さえて形材とビード材のすき間に充填してください。



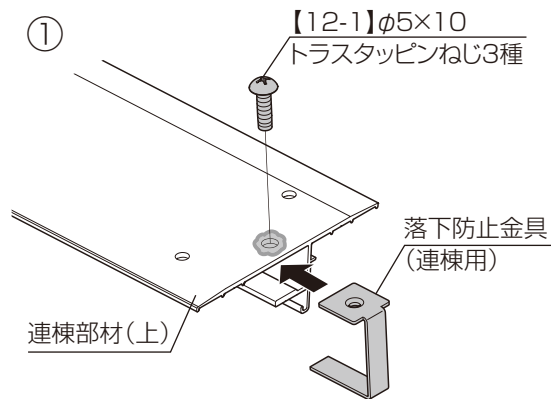
お願い

破線部分にシーリングしないようにしてください。



4 連棟部材(上)の取付け

- ①連棟部材(上)の壁付枠側の加工穴にシーリングし、落下防止金具を連棟部材に差込んで【12-1】で固定してください。
- ②壁付枠連結カバーにシーリングをしてください。
- ③後枠コーナーキャップの上部にシーリングしてください。
- ④連棟部材(上)を1台目の後枠の加工穴に【12-2】で取付けください。
- ⑤連棟部材(上)の壁付枠固定用の穴の中央に壁付枠のケガキ線がくるように位置を調整してください。
- ⑥1台目と2台目の壁付枠のケガキ線上に連棟部材(上)を【12-2】で取付けてください。
- ⑦1台目の屋根材に連棟部材(上)を【12-2】で取付けてください。
- ⑧連棟部材(上)と壁付枠連結カバー、壁付枠の隙間にシーリングしてください。



下記のオプションを取付ける場合は、対応した取付説明書を併せて参照してください。

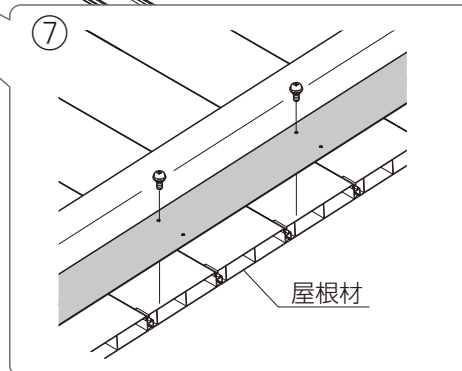
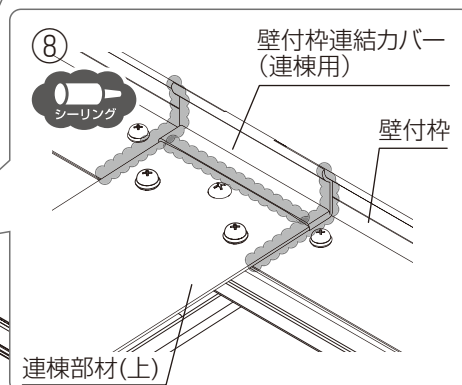
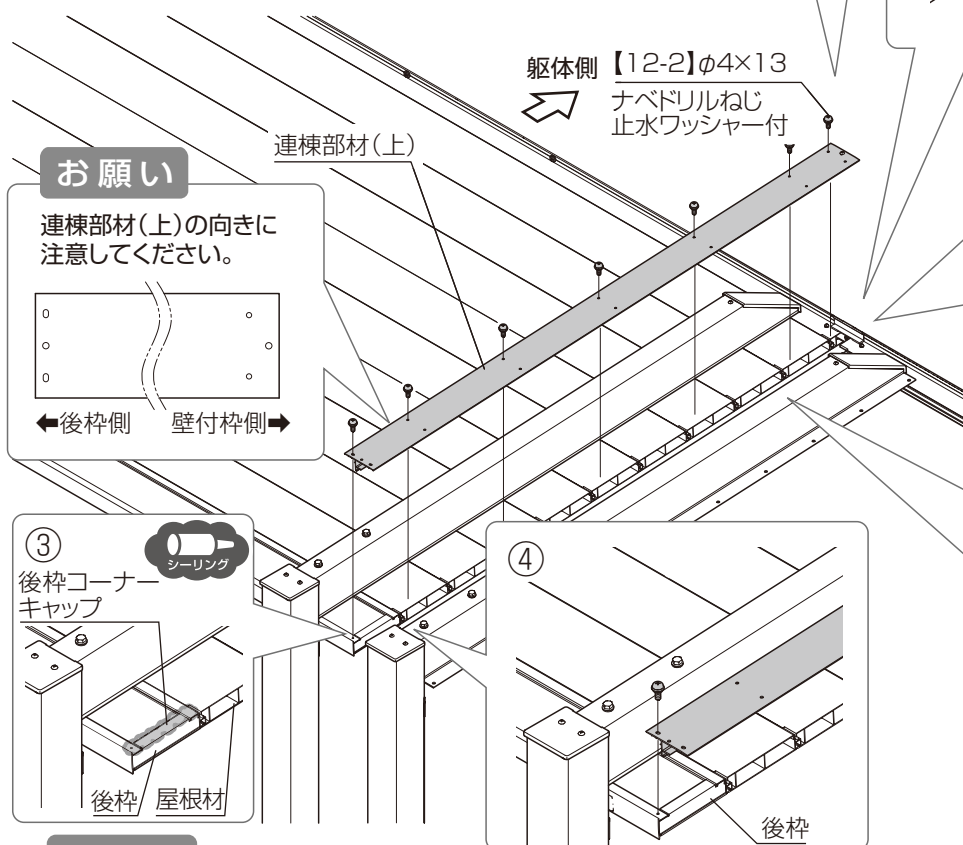
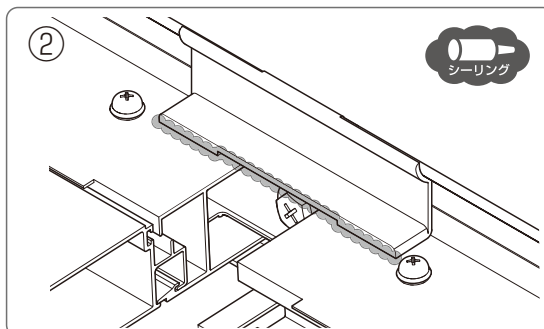
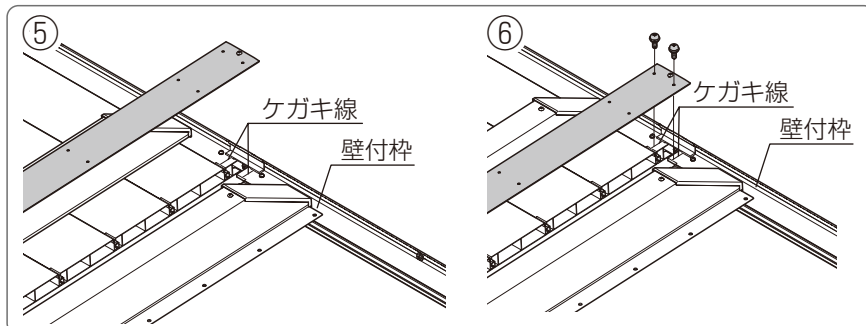
「テラスSC 屋根照明(独立タイプ 壁付タイプ テラスタイプ) 取付説明書(MAN-702)」

お願い

照明を取付ける場合は、連棟部材(上)を現場で加工する必要があります。

補足

- 後枠側の加工穴を基準に取付けてください。
- 先に後枠を固定し、壁付枠を固定することで連棟部材の位置出しをすることができます。

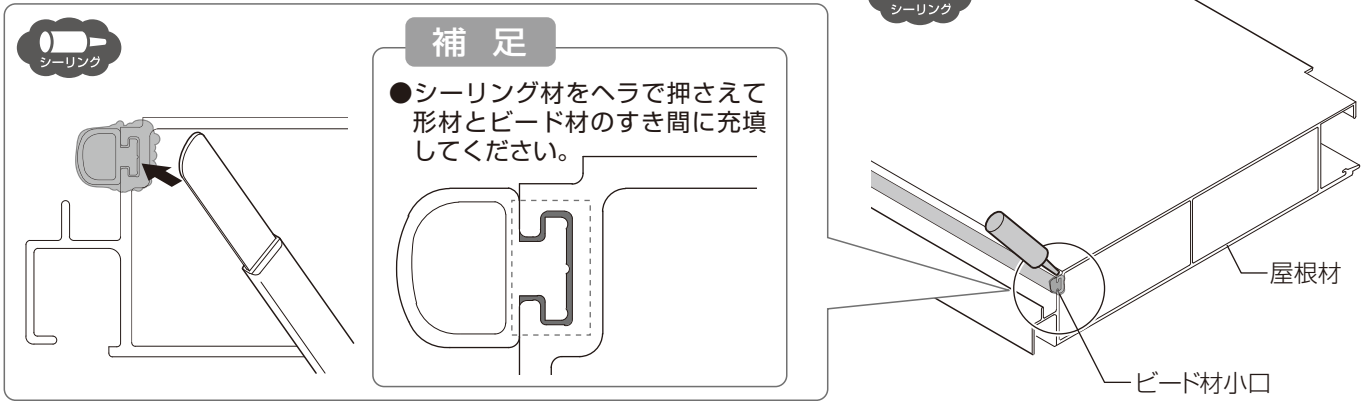


お願い

照明を取付ける場合、事前に連棟部材の切り欠き加工が必要となります。連棟部材の切り欠き加工については「テラスSC 屋根照明(独立タイプ 壁付タイプ テラスタイプ) 取付説明書(MAN-702)」の<連棟部の施工>を参照してください。

5 屋根部(2台目)の取付け

①連棟側のビード材小口にシーリングしてください。

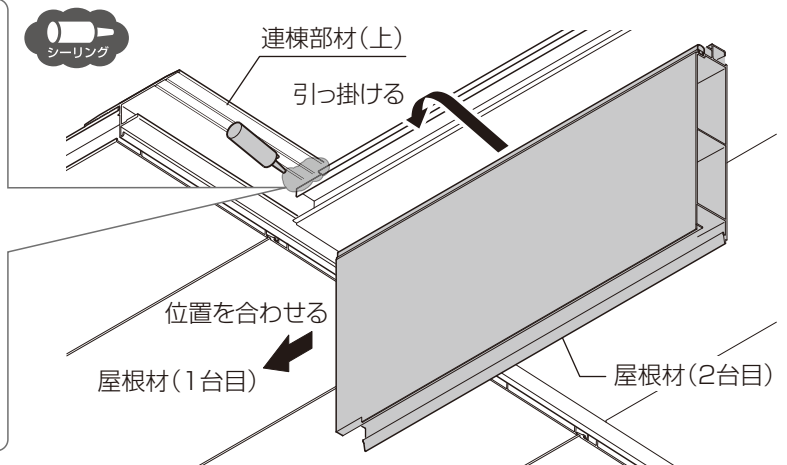
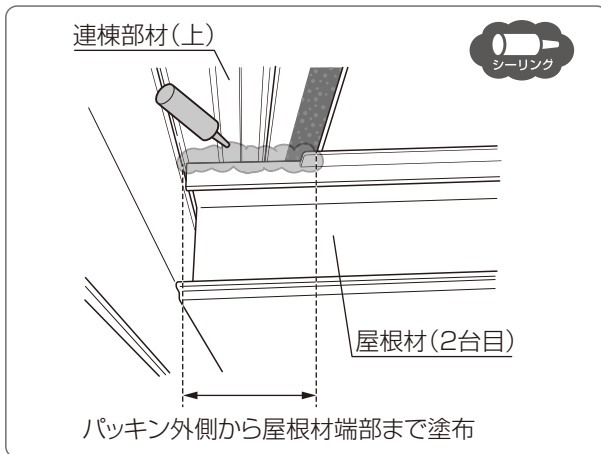
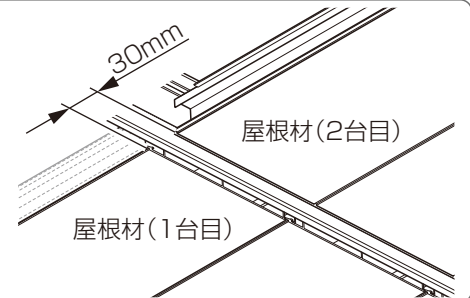


②先に取付けた屋根材の切り欠き部にシーリングしてください。

③屋根材を引っ掛けて、先に取付けた屋根材と端部の位置を合わせてください。

お願い

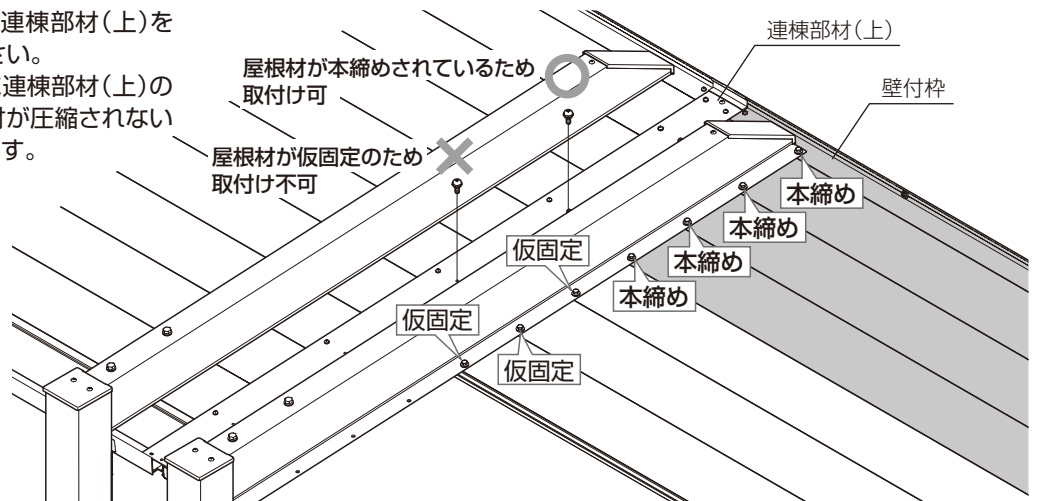
1台目の屋根材と2台目の屋根材の隙間を30mm確保してください。連棟部材(下)が取付けられない場合があります。



④基本タイプ**6**、**7**(P.25~29)の施工方法を参照し、壁付枠~屋根材を取付けながら【12-2】で連棟部材を取付けてください。

お願い

●梁に本締めした屋根材に連棟部材(上)を【12-2】で取付けてください。仮固定の状態の屋根材に連棟部材(上)のねじ固定を行うとビード材が圧縮されないため、漏水の原因となります。

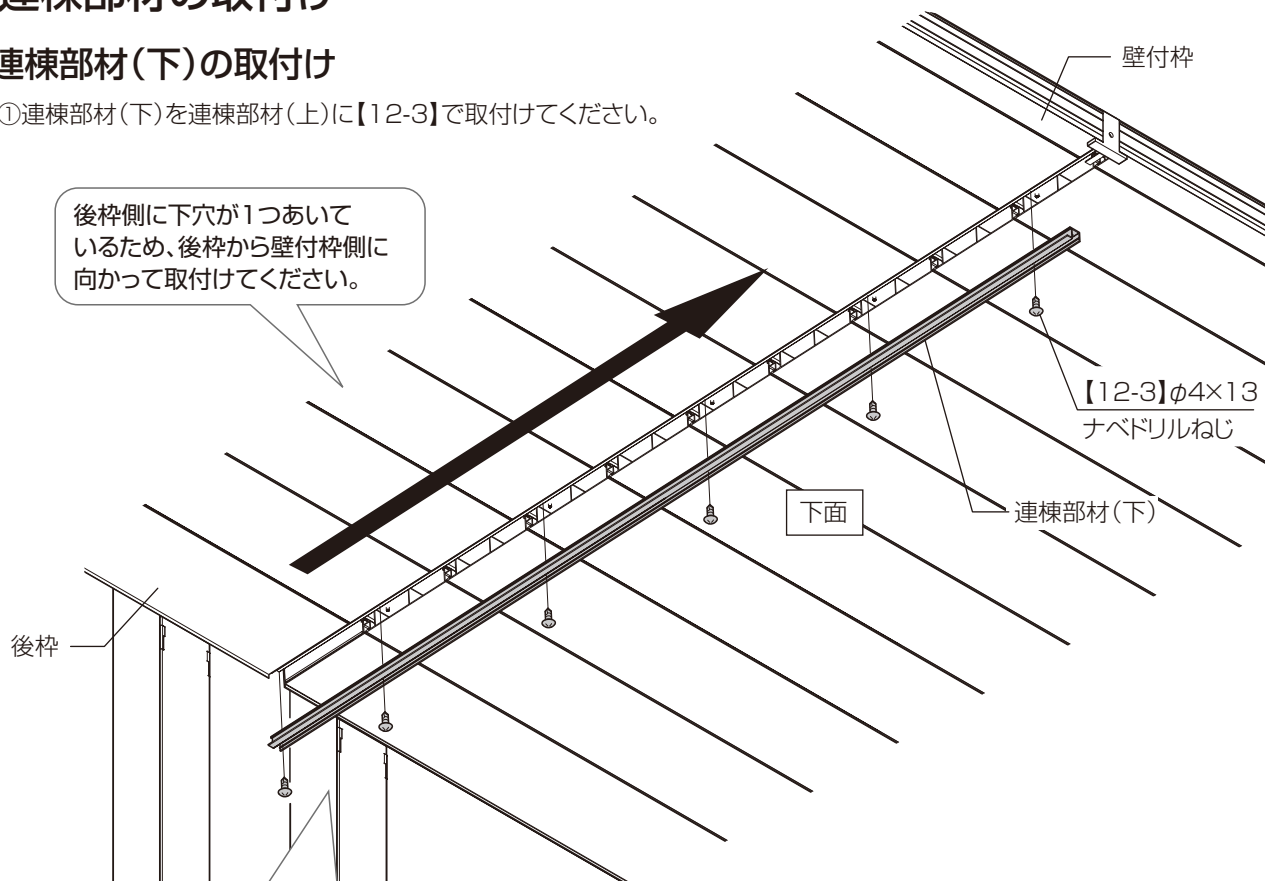


⑤以降の手順は、基本タイプ**8**~**10**の施工方法を参照して取付けてください。

6 連棟部材の取付け

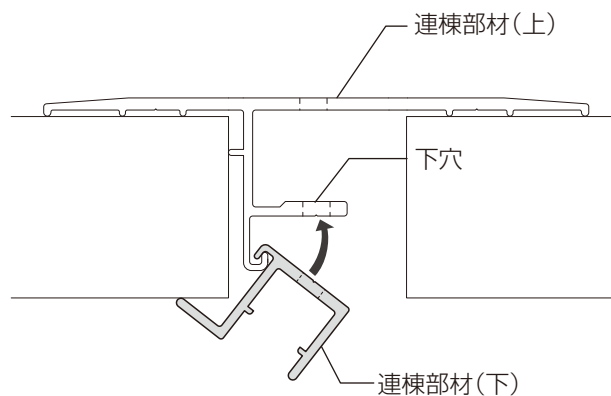
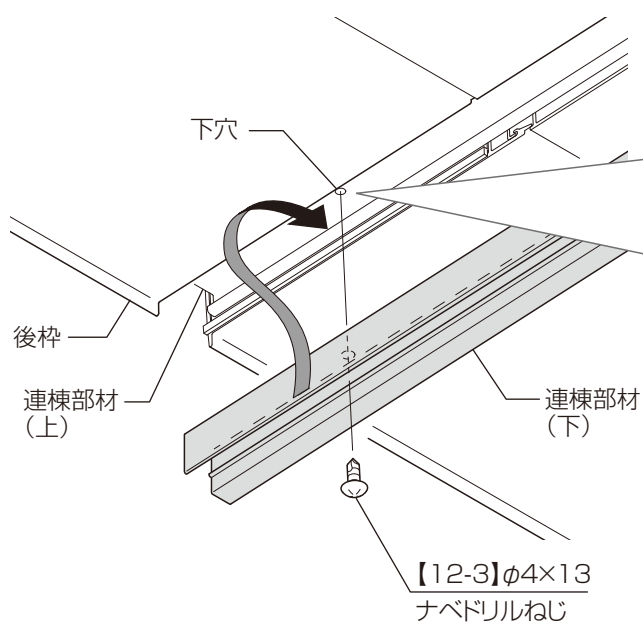
1 連棟部材(下)の取付け

①連棟部材(下)を連棟部材(上)に【12-3】で取付けてください。



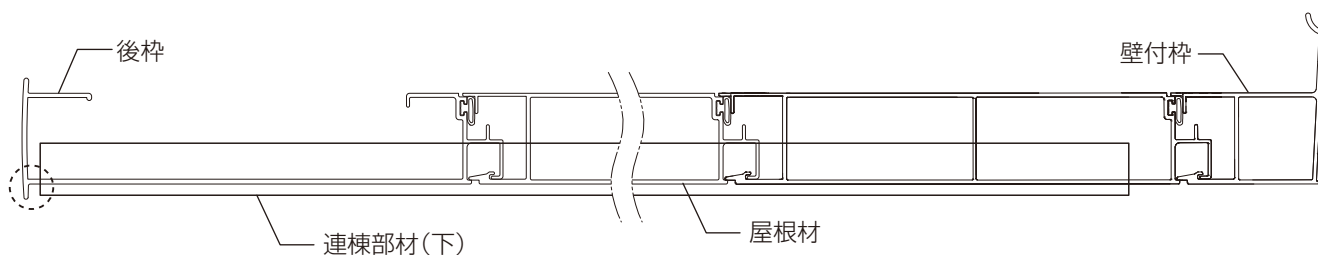
お願い

後枠側の連棟部材(上)と連棟部材(下)の穴を合わせて取付けてください。
(連棟部材(上)の後枠側に下穴が1つあります。)



補足

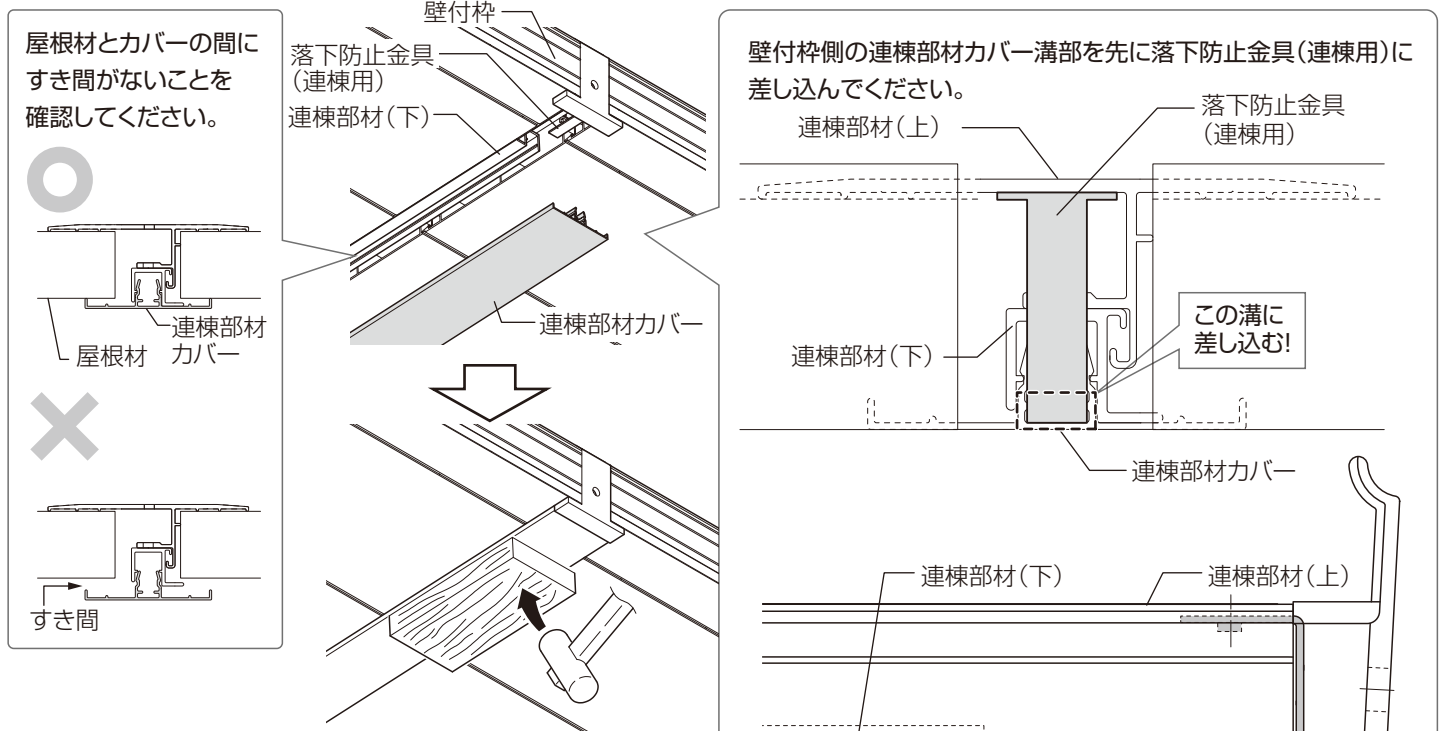
連棟部材(下)取付後に後枠との間にすき間があることを確認してください。
すき間が無いと連結カバーが取りつきません。



2 連棟部材カバーの取付け

①連棟部材カバーを連棟部材(下)に取付けてください。

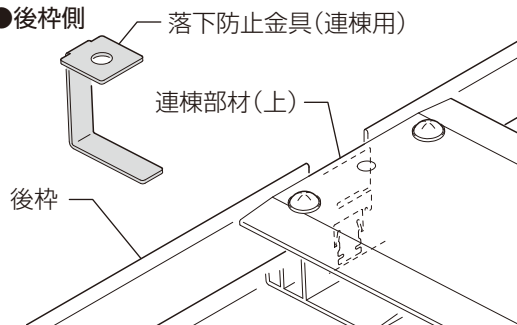
※先に壁付枠側の落下防止金具(連棟用)に連棟部材カバーの溝部を差し込んでから取付けてください。



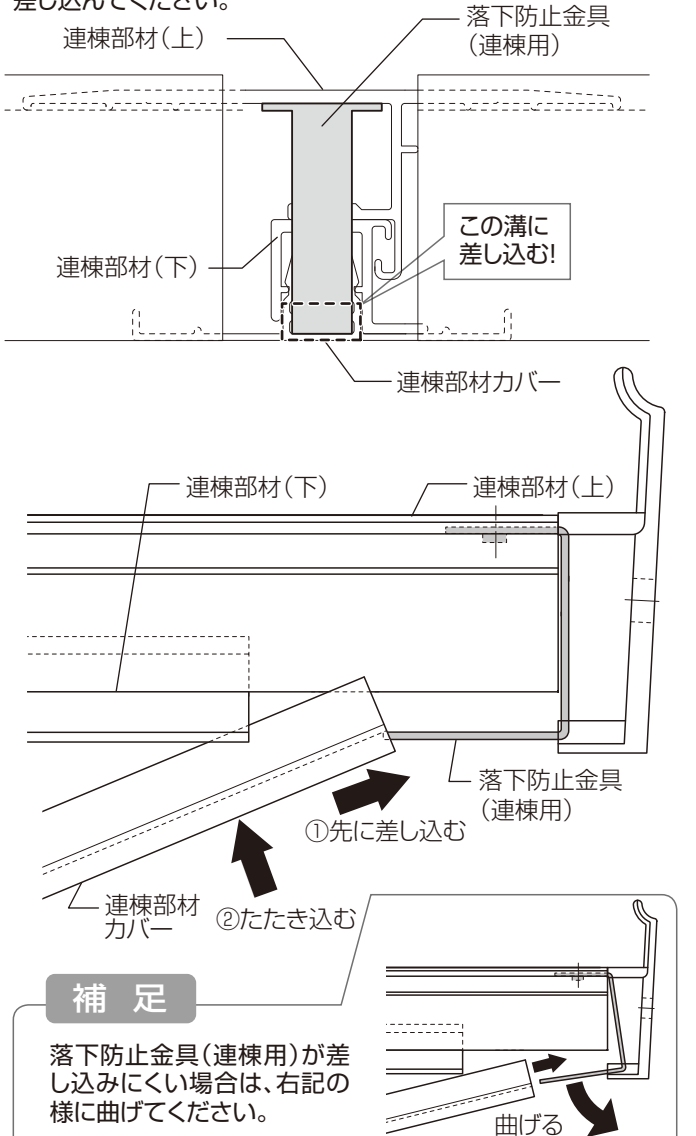
3 落下防止金具の取付け

①後枠側に落下防止金具(連棟用)を連棟部材に差し込んでください。

●後枠側



壁付枠側の連棟部材カバー溝部を先に落下防止金具(連棟用)に差し込んでください。



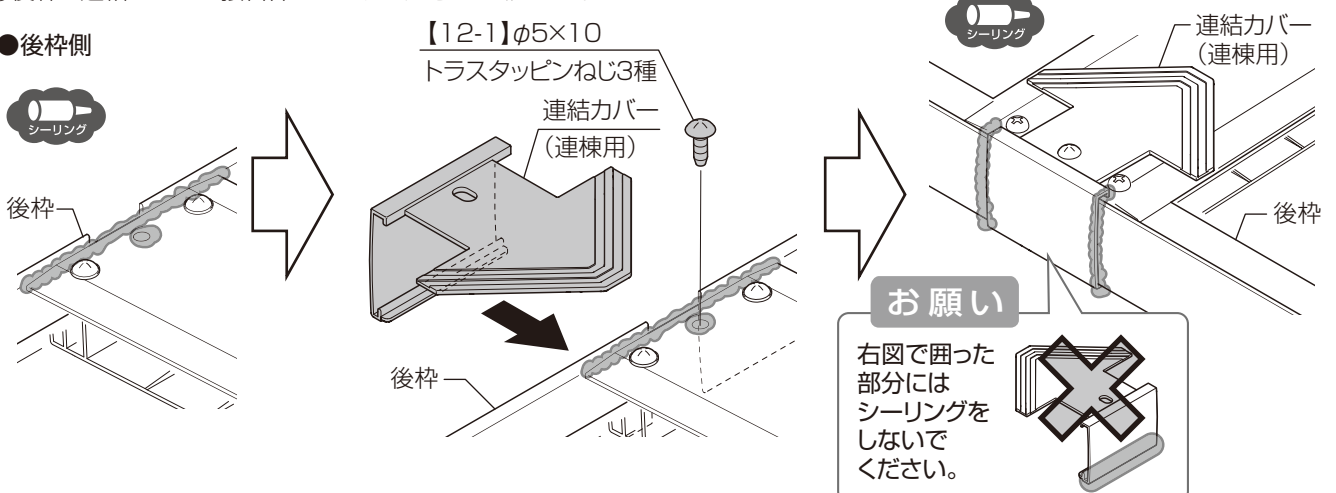
4 連結カバーの取付け

①連棟部材(上)の端部と加工穴にシーリングをしてください。

②連結カバーを【12-1】で取付けてください。

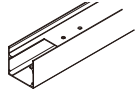
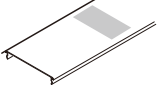
③後枠と連結カバーの接合部にシーリングをしてください。

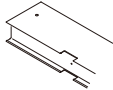
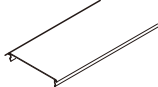
●後枠側

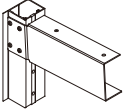


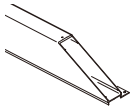
梱包明細表

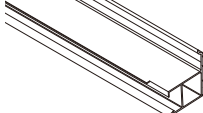
※施工の前に梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。

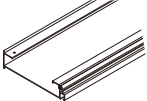
【1】 柱セット		員数
名称	略図	1本入
柱		1
柱カバー		1

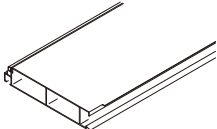
【2】 柱セット (排水用)		員数
名称	略図	1本入
柱(排水用)		1
柱カバー(排水用)		1

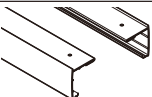
【3】 梁柱固定金具		員数
名称	略図	2本入
梁柱固定金具		左右各1


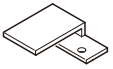







【4】 梁セット		員数
名称	略図	2本入
梁		左右各1

【5】 壁付枠セット		員数
名称	略図	1本入
壁付枠		1

【6】 後枠セット		員数
名称	略図	1本入
後枠		1

【7】 屋根材セット		員数	
名称	略図	2本入	3本入
屋根材		2	3



【8】 側枠セット		員数
名称	略図	左右各1
側枠		左右各1

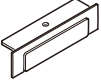

【9】 フレーム組立部品セット		員数				
名称	略図	4尺	5尺	6尺	7尺	9尺
柱上部キャップ		2	2	2	2	2
梁キャップ		2	2	2	2	2
裏板		13 (予備含む)	17 (予備含む)	22 (予備含む)	26 (予備含む)	35 (予備含む)
梁スリーブ		—	—	—	2	2
後枠取付け金具L		1	1	1	1	1
後枠取付け金具R		1	1	1	1	1
排水部品A		1	1	1	1	1
排水部品B		1	1	1	1	1
排水部品D-1		1	1	1	1	1
排水部品D-2		1	1	1	1	1
柱すき間ふさぎ部品		1	1	1	1	1
柱すき間ふさぎ部品 (排水)		1	1	1	1	1
φ8×200アンカー棒		2	2	2	2	2
取付説明書		1	1	1	1	1
取扱説明書		1	1	1	1	1
【9-1】M6×20六角ボルト 緩み止め止水ワッシャー付		13 (予備含む)	17 (予備含む)	22 (予備含む)	26 (予備含む)	35 (予備含む)
【9-2】M8×30六角ボルト 緩み止め止水ワッシャー付		10	10	10	10	10
【9-3】φ5×20 トラスタッピンねじ3種		8	8	8	8	8
【9-4】φ5×10 トラスタッピンねじ3種		—	—	—	8	8
【9-5】φ4×13 ナベドリルねじ		1	1	1	1	1


【10】屋根組立部品セット		
名称	略図	員数
後枠固定金具		4
テラス用壁付枠 コーナーキャップ L		1
テラス用壁付枠 コーナーキャップ R		1
後枠コーナーキャップ L		1
後枠コーナーキャップ R		1
集水部品		1
雨樋穴ふさぎキャップ		1
水下ブロック L		1
水下ブロック R		1
【10-1】φ5×10 トラスタッピンねじ3種		2
【10-2】φ4×13 ナベドリルねじ 止水ワッシャー付		26 (予備含む)
【10-3】φ6×90 六角タッピンねじ1種		13
【10-4】φ6用平座金		13

【11】連棟部材セット		
名称	略図	員数
連棟部材(上)		1
連棟部材(下)		1
連棟部材カバー		1

【12】連棟用屋根組立部品セット		
名称	略図	員数
後枠固定金具		4
連結カバー(連棟用)		1
壁付枠連結カバー (連棟用)		1
壁付枠連結スリーブ (連棟用)		1
落下防止金具(連棟用)		2
後枠コーナーキャップ L		1
後枠コーナーキャップ R		1
集水部品		1
雨樋穴ふさぎキャップ		1
【12-1】φ5×10 トラスタッピンねじ3種		4
【12-2】φ4×13ナベ ドリルねじ止水ワッシャー付		28
【12-3】φ4×13 ナベドリルねじ		9
【12-4】φ6×90 六角タッピンねじ1種		13
【12-5】φ6用平座金		13

【13】 雨樋アタッチセット (オプション)		
名称	略図	員数
雨樋アタッチメント (φ40接続用)		1
接着剤		1

【14】 柱移動部品セット (オプション)		
名称	略図	員数
雨樋穴ふさぎキャップ		1
【14-1】φ5×10 トラスタッピンねじ3種		1

【15】 穴ふさぎシールセット(オプション)		
名称	略図	員数
穴ふさぎシール (10枚入)		1

【16】 M6×90六角ドリルねじセット		員数
名 称		
φ6×90六角タッピンねじ1種		10
M6用平座金		10

【17】 M6×70六角ドリルねじセット		員数
名 称		
φ6×70六角タッピンねじ1種		10
M6用平座金		10

【18】 オールアンカーセット		員数
名 称		
M6×60オールアンカー		10
M6用平座金		10
M6用ばね座金		10
M6用袋ナット		10

【19】 潰れ防止部品セット		員数
名 称		
潰れ防止部品		10

【20】 スパンサイディング用バックアップ材セット		員数
名 称		
スパンサイディング用バックアップ材		120

【21】 外壁対応部品セット		員数
名 称		
M6用平座金		10
M6×150六角コーチボルト		10

MEMO

MEMO

MEMO

取説コード

MAN-725

MAN-725A
202406_1048
202410A_1048